

第1回日本全国パルクール調査 結果報告書

平成26年5月
日本パルクール協会

<目次>

1. 調査目的.....	4
2. 調査概要.....	4
3. 調査結果.....	5
1) 基礎項目.....	5
【Q1, Q2】性別、年齢.....	5
【Q3】居住地.....	6
【Q4】職業.....	7
2) パルクールに関する回答者の属性.....	7
【Q5】パルクール歴.....	7
【Q6】トレーニング時間.....	7
【Q7】練習環境.....	8
【Q8】きっかけ.....	8
【Q9】団体所属の有無.....	8
【Q10,Q11】パルクール団体の名前と組織形態.....	9
【Q12】練習場所.....	10
【Q13】社会的立ち位置.....	10
【Q14】家族に対する説明の有無.....	10
【Q15】家族のパルクールに対する理解度.....	11
【Q16】家族に対する説明が無い理由.....	11
3) 全国組織が果たしうる役割の必要性.....	12
【Q17】パルクールの説明.....	12
【Q18】実施状況の調査と公開.....	12
【Q19】歴史の編纂と公開.....	12
【Q20】基礎トレーニング方法の公開.....	13
【Q21】スポットに関するマナーの明示.....	13
【Q22】発生しうる怪我の情報と応急処置.....	13
【Q23】練習中の器物破損の対応法の公開.....	14
【Q24】総合窓口の設置.....	14
【Q25】インタビュー動画やプロモーション動画の配信.....	14
【Q26】簡単な動画講座の配信.....	15
【Q27】危険・違法行為に関する注意喚起.....	15
【Q28】ウェブマガジンの刊行.....	15
【Q29】国内外のニュースの紹介.....	16

【Q30】 ネットラジオの配信	16
【Q31】 合宿型パルクールイベントの開催	16
【Q32】 大規模練習会の開催	17
【Q33】 全国的ショーケースの開催	17
【Q34】 トレーサー同士の交流イベントの開催	17
【Q35】 ワークショップ開催	18
【Q36】 体育やレクリエーションへのパルクールの導入	18
【Q37】 屋外パルクールパークの設置交渉	18
【Q38】 スポットの掃除	19
【Q39】 施設情報	19
【Q40】 練習会ガイドライン	19
【Q41】 指導者の育成システムの整備	20
【Q42】 ADAPT 受講環境の整備	20
【Q43】 パルクールインストラクター養成ワークショップの開催	20
【Q44】 パルクールウェアの販売	21
【Q45】 パルクールガイドブック・DVD の販売	21
【Q46】 練習仲間を見つけられるサービス	21
【Q47】 トレーサー向け連絡サービス	22
【Q48】 チーム一覧の作成	22
【Q49】 練習会情報一覧の作成	22
【Q50】 掲示板の設置	23
4) パルクールにおける社会的側面	23
【Q51】 公共物利用の心情	23
【Q52】 私有地利用の心情	24
【Q53】 公園利用の心情	24
【Q54】 市街地利用の心情	24
【Q55】 注意喚起・警告の必要の有無	25
【Q56】 清掃活動の必要の有無	25
【Q57】 パルクールの社会的理解度	25
【Q58】 パルクールが社会的に理解されていると思う理由（自由記述）	25
【Q59】 今後、パルクールが社会的に理解されると思うか	26
【Q60】 今後、パルクールが社会的に理解されると思う理由（自由記述）	27
【Q61】 今後、パルクールが社会的に理解されたくない理由（自由記述）	36
【Q62】 パルクールの理解を深めるために必要な活動（自由記述）	41

1. 調査目的

日本国内におけるパルクールの実施状況を把握し、今後のパルクールの普及と発展に必要な情報を公開するために、また、パルクール及び全国組織に関する意見を収集するために、アンケート調査を実施した。なお、この調査は日本パルクール協会による最初の事業として実施した。

2. 調査概要

1) 調査対象

2014年3月24日時点で日本に在住するパルクール関係者全て

2) 調査方法

セルフアンケート ASP「Questant」を利用し、作成したアンケートページの URL を Facebook、Twitter、パルクール関係者のウェブページ上に掲載し、調査協力を各ウェブページ上にて依頼した。

3) 調査期間

2014年2月14日～3月24日

4) 調査項目

1) 基礎項目

性別、年齢、居住地、職業

2) パルクールに関する回答者の属性

パルクール歴、トレーニング時間、練習環境、きっかけ、団体所属の有無、練習場所、社会的立ち位置、家族に対する説明の有無

3) 全国組織が果たしうる役割の必要性

パルクールの説明、実施状況の調査と公開、歴史の編纂と公開、基礎トレーニング方法の公開、スポットに関するマナーの明示、発生しうる怪我の情報と応急処置、練習中の器物破損の対応法の公開、総合窓口の設置、各種メディアの配信、危険・違法行為に関する注意喚起、ウェブマガジンの刊行、国内外のニュースの紹介、各種イベントの開催、各種ワークショップの開催、体育やレクリエーションへのパルクールの導入、屋外パルクールパークの設置交渉、スポットの掃除、施設情報、練習会ガイドライン、指導者の育成、パルクールグッズの販売、ウェブサービスの提供、チーム一覧の作成、練習会情報一覧の作成、掲示板の設置

4) パルクールにおける社会的側面

公共物利用の心情、私有地利用の心情、公園利用の心情、市街地利用の心情、注意喚起・警告の必要の有無、清掃活動の必要の有無、パルクールの社会的理解度

回答は基本的に選択肢としたが、最後に「パルクルの社会的な理解」について、自由記述欄を設けた。

5) 回答者数

2014年3月24日までの回答分を有効回答として分析した。また、項目によっては「無回答」を除いて分析した。各項目における有効回答数を図中に n で示す。回収数は 307 であった。

6) 集計方法

(ア) 集計単位

基本的には、回答者総数又は各属性の回答者に占める構成比率を、少数点第 2 位を四捨五入した少数点第 1 位までの百分率で表示している。このため、各項目の比率を合計した値が 100%にならない場合がある。

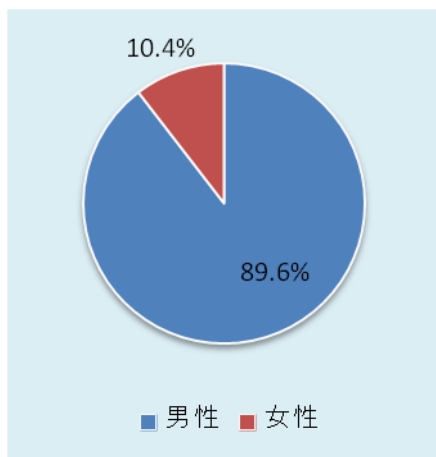
(イ) 自由意見欄

Q 58、Q60、Q61、Q62 で意見や要望を自由に記入してもらっている部分は、明らかな誤字、脱字を除き、原則的には記入された内容をそのまま掲載している。漢字、ひらがな、カタカナの標記も原文そのままとし、内容に回答者及びその他の個人が特定できる部分、事実関係が明らかでないもの、表現が不適切なものがあつた場合はその部分を削除して掲載している。

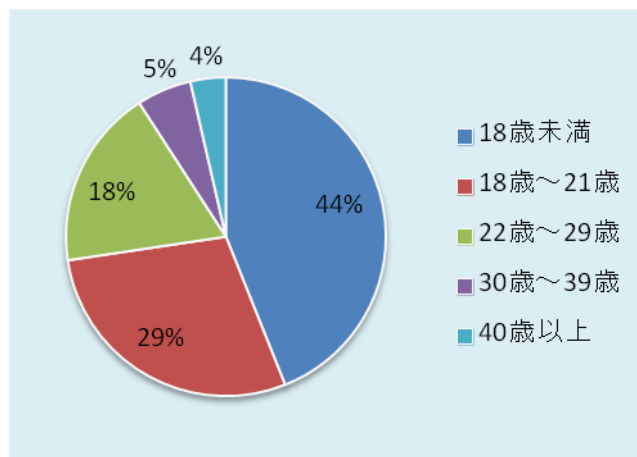
3. 調査結果

1) 基礎項目

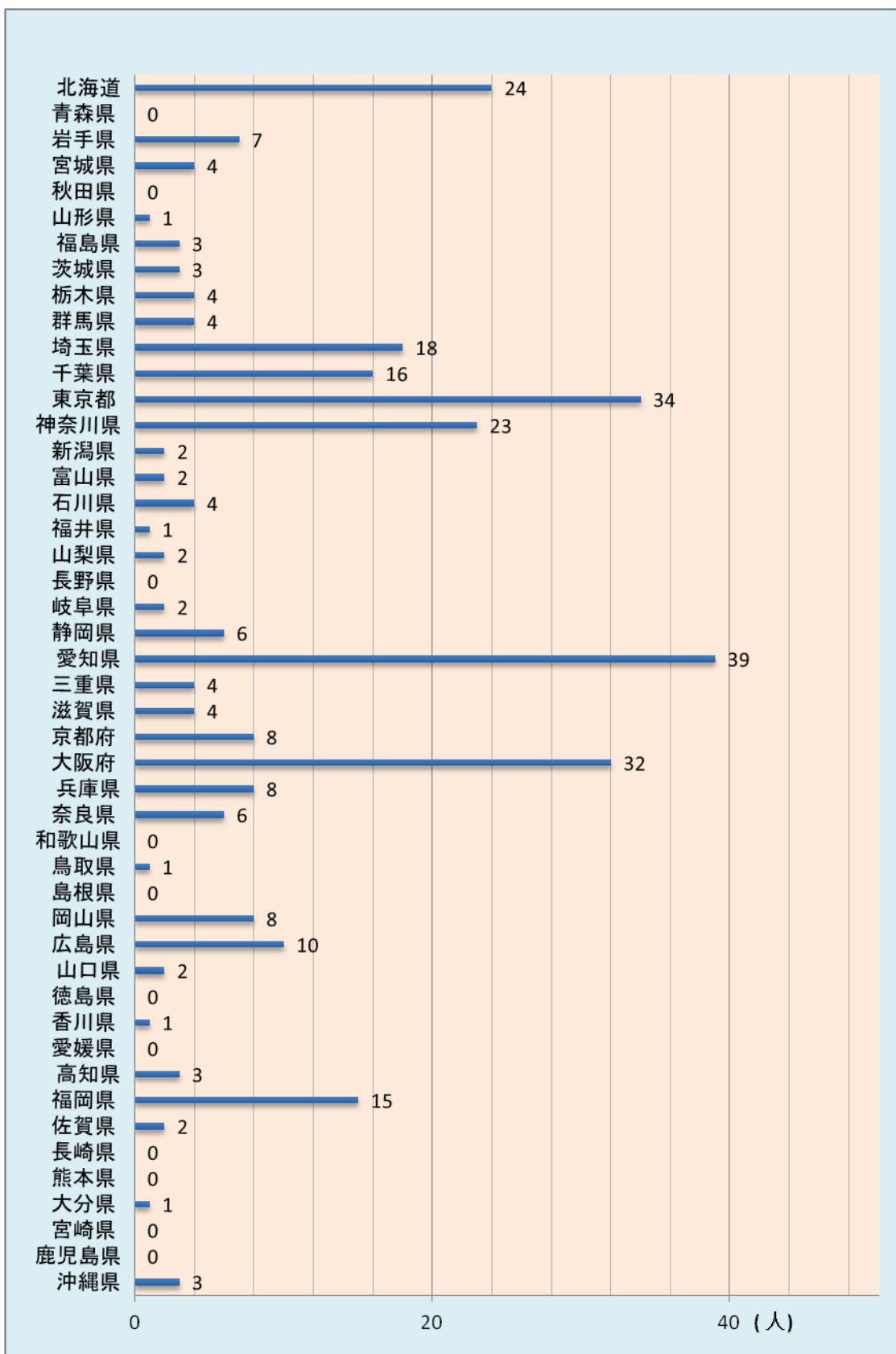
Q1. 性別をお選びください。(n=307)



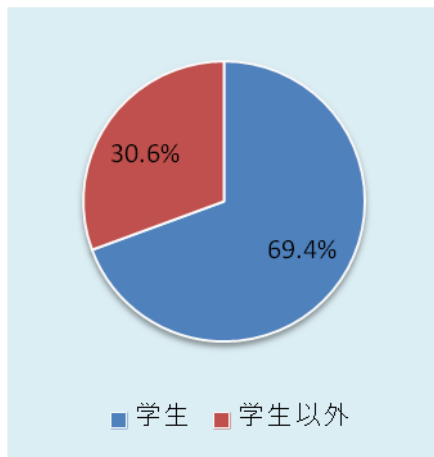
Q2. 年齢をお選びください。(n=307)



Q3. お住まいの都道府県をお選びください。(n=307)

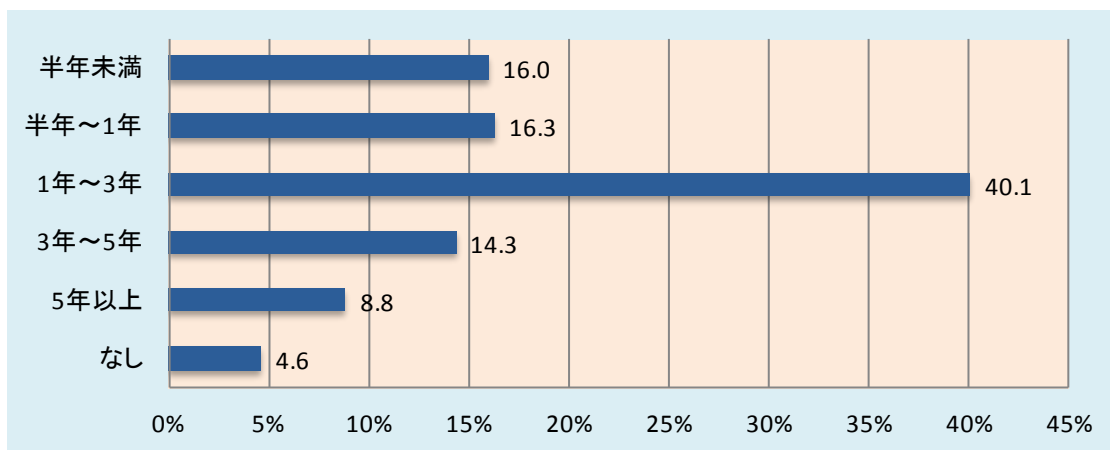


Q4. 職業をお選びください。(n=307)

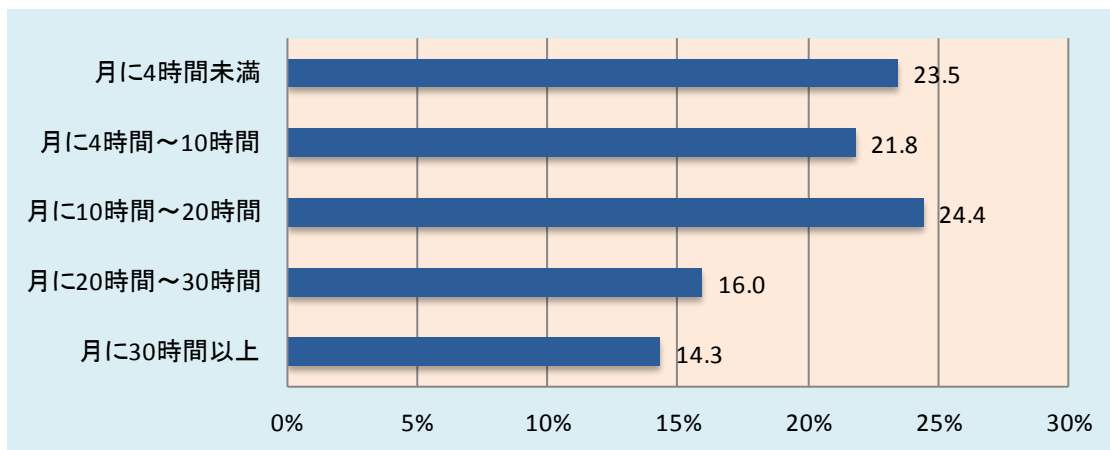


2) パルクールに関する回答者の属性

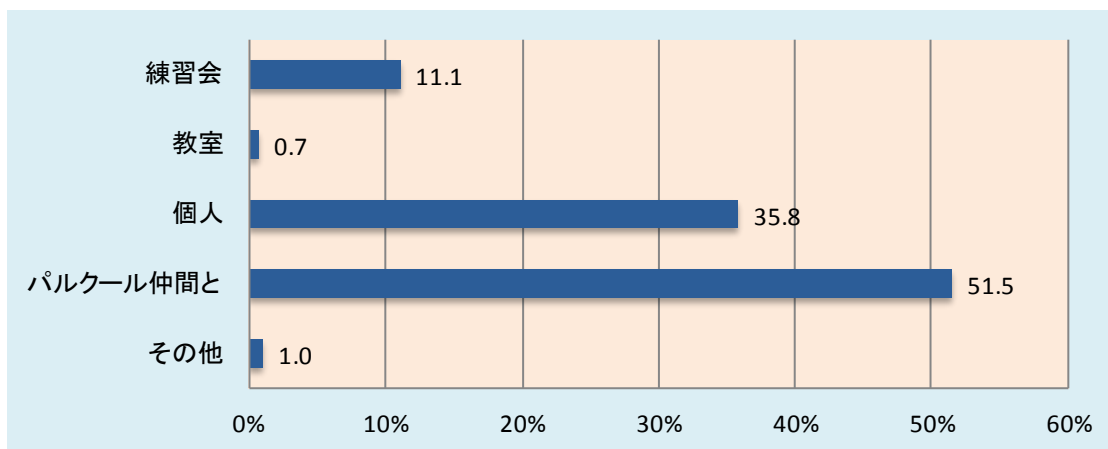
Q5. パルクール歴をお選びください。(n=307)



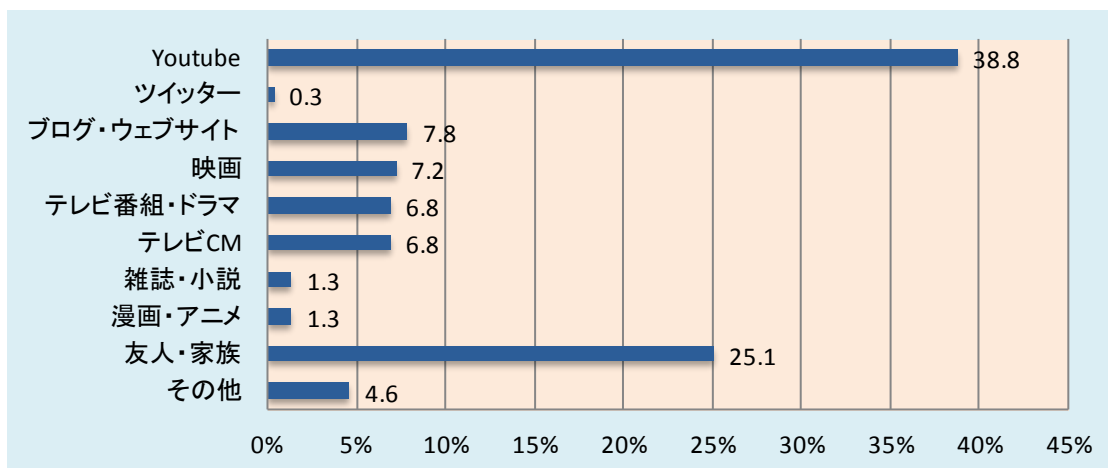
Q6. 過去1年間におけるパークールに費やす時間は月に平均でどのくらいですか？(n=307)



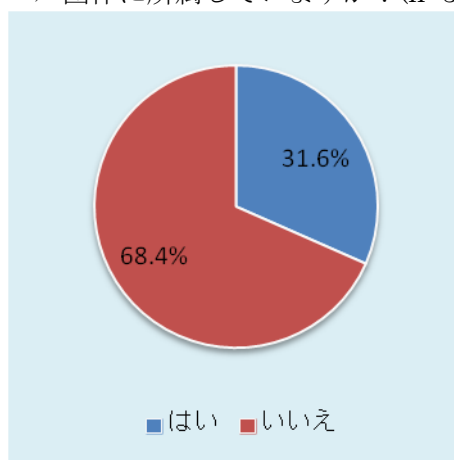
Q7. パルクールを主にどのような状況で練習しますか？一つお選びください。(n=307)



Q8. パルクールを何から見聞きして知りましたか？(n=307)



Q9. 現在、何らかのパルクール団体に所属していますか？(n=307)



Q10, Q11. 所属パルクール団体の名前と組織形態 (n=97)

アンケート結果としての公開を希望する団体を掲載した。なお、複数の回答において同様の団体名が記載されていた場合は、公開を希望しない回答が 1 つでもある団体はすべて非公開とし、公開を希望する団体は複数の回答のうちの最も適切と考えられる名称に統一した。

(ア) チーム

- ➔ CAM
- ➔ FRS
- ➔ hstm
- ➔ J.U.M.P
- ➔ M.L.C
- ➔ monster pk
- ➔ OPPOSITE
- ➔ RyukyuFreeRun
- ➔ S.M.A.R.T
- ➔ Scamper
- ➔ Team Divers
- ➔ TeamHams
- ➔ Team Jumper
- ➔ UrbanRabbits
- ➔ VIX
- ➔ 鬼族
- ➔ 黄昏(TaSoGaRe)
- ➔ ど真ん中倶楽部
- ➔ 天竜よろず屋
- ➔ 他 2 団体

(イ) 活動支援団体

- ➔ NaGaRe
- ➔ 他 1 団体

(ウ) サークル

- ➔ Sapporo Parkour Krew
- ➔ 他 1 団体

(エ) 任意団体

- ➔ 侍族 (SAMURAI TRIBE)
- ➔ SENDAI X TRAIN

(オ) 会社

- ➔ ジャパンパルクールエンターテインメント
- ➔ 薬

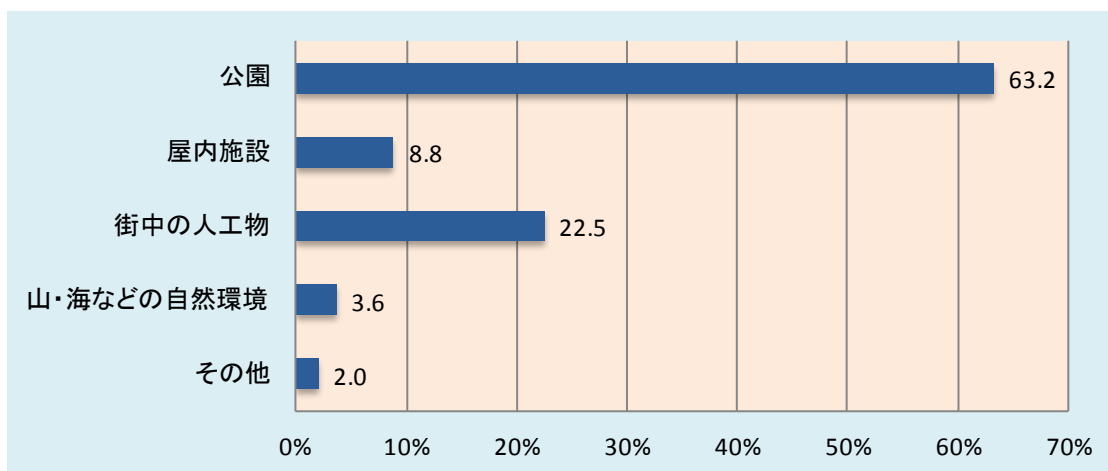
(カ) その他

- ➔ ど真ん中 : Butterfly-japan
- ➔ 群馬でパルクールをしている人の
総称 : PKGM(パルクール群馬)
- ➔ 友人達と結成 : LCB
- ➔ 練習会運営 : ふくしまパルクール

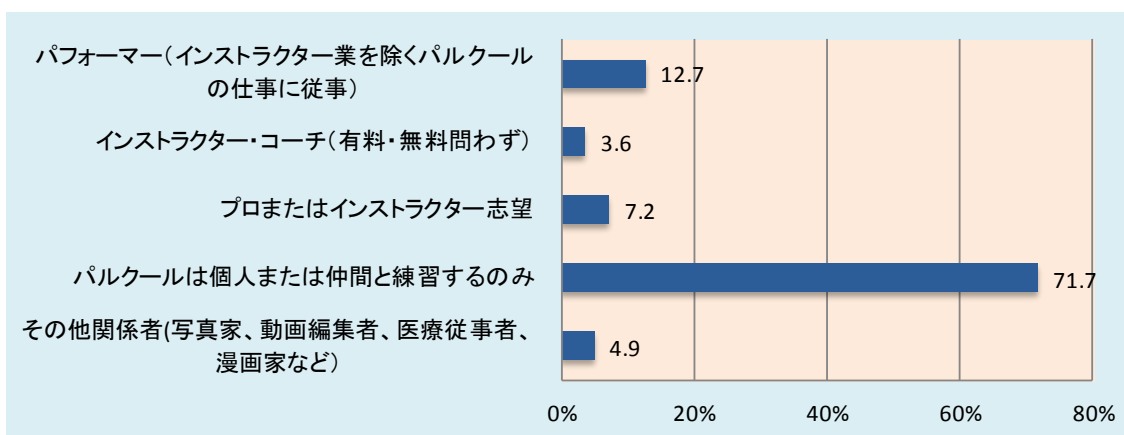
(キ) 組織形態に関する記入なし

- ➔ DailyConnect
- ➔ Fate of The Wind
- ➔ FlowFly
- ➔ Red Hawk
- ➔ Sa.ga
- ➔ SIGNAL
- ➔ Skyrunner
- ➔ TeamFIPK
- ➔ 熱海 ONE STEP pk
- ➔ チーム weather
- ➔ 名古屋パルクール
- ➔ 他 2 団体

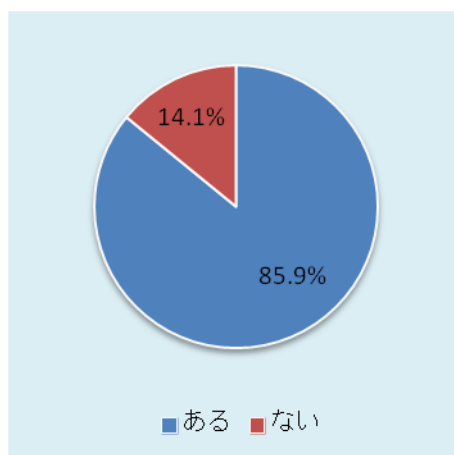
Q12. 主にどのような場所で練習しますか？もっともあてはまるものを一つお選びください。(n=307)



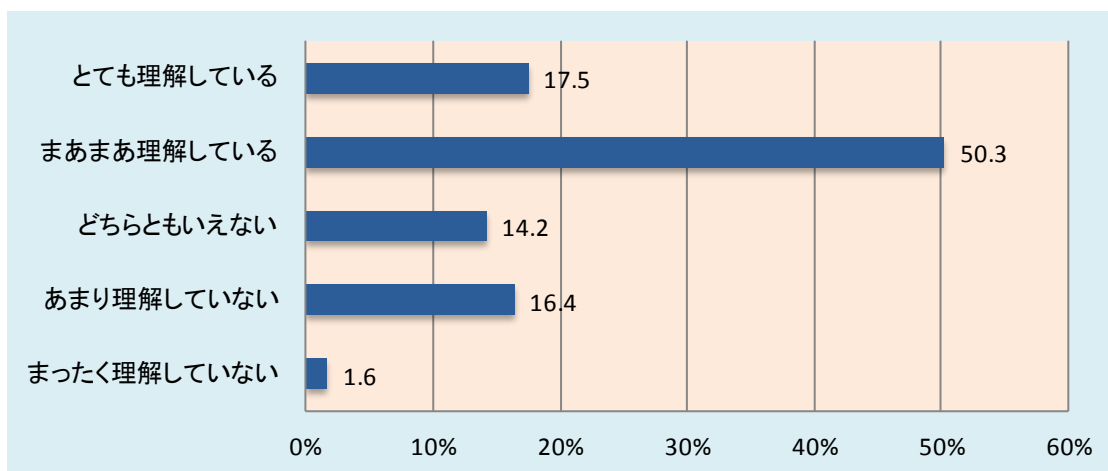
Q13. パルクールに関する社会的な立ち位置として、最も近いものをお選びください。(n=307)



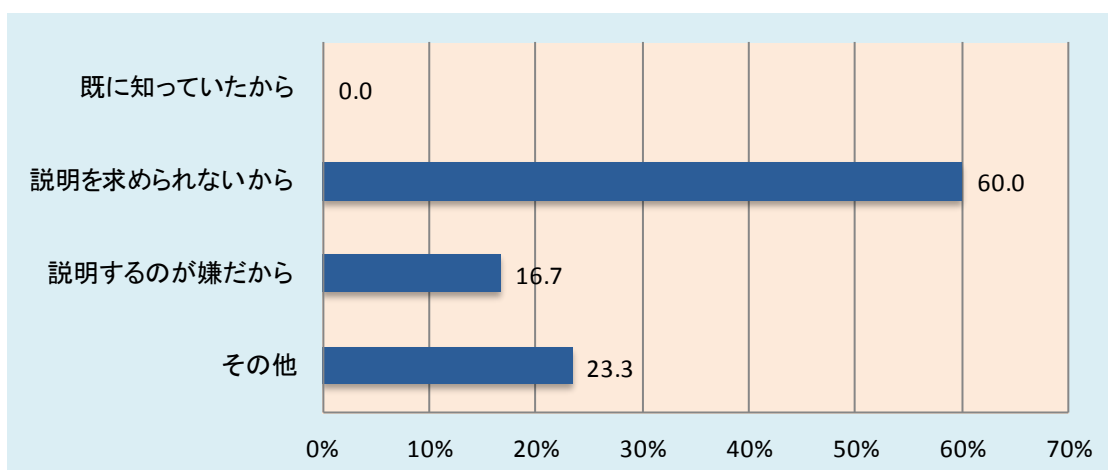
Q14. Q4 で「学生」を選んだ方にお聞きします。家族にパークールの説明をしたことがありますか？(n=213)



Q15. Q14で「ある」を選んだ方にお聞きします。家族のパークールに対する理解度をお選びください。(n=183)



Q16. Q14で「ない」を選んだ方にお聞きします。その理由をお選びください。(n=30)

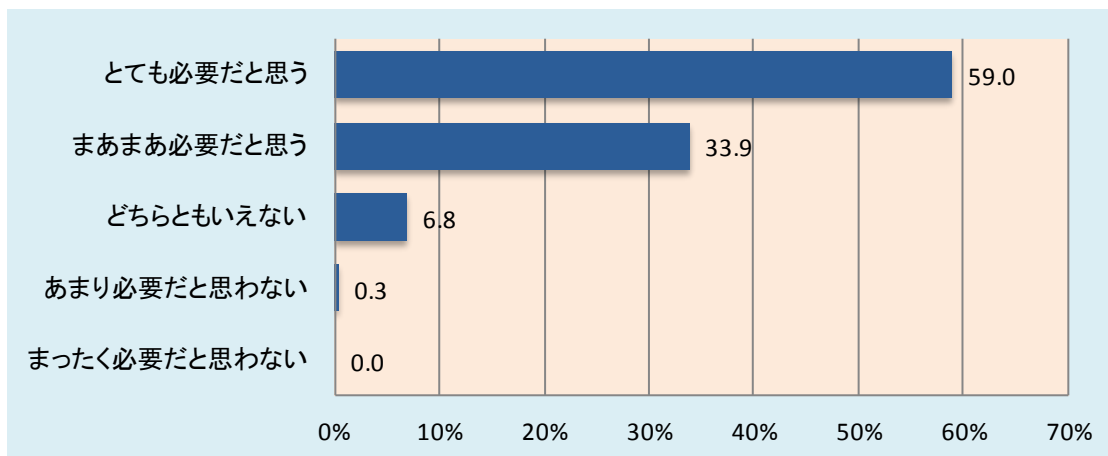


その他(自由記述)

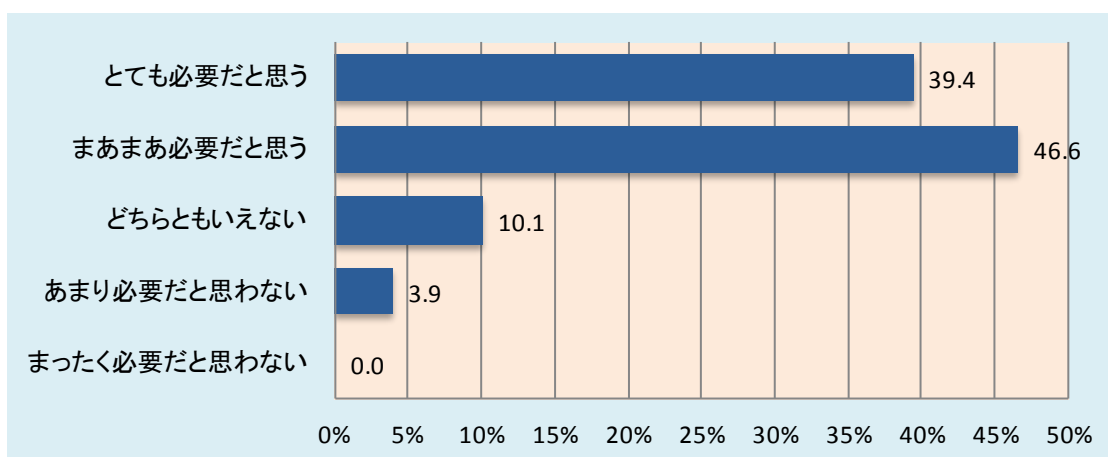
- ➡ 特に話題にあがらない。
- ➡ 説明するのが恥ずかしいから。
- ➡ 話すこともないから。
- ➡ 話をしても流された。
- ➡ 面倒くさいから。
- ➡ 家族に言っていない。
- ➡ 反対されるし、否定されるから。

3) 全国組織が果たしうる役割の必要性

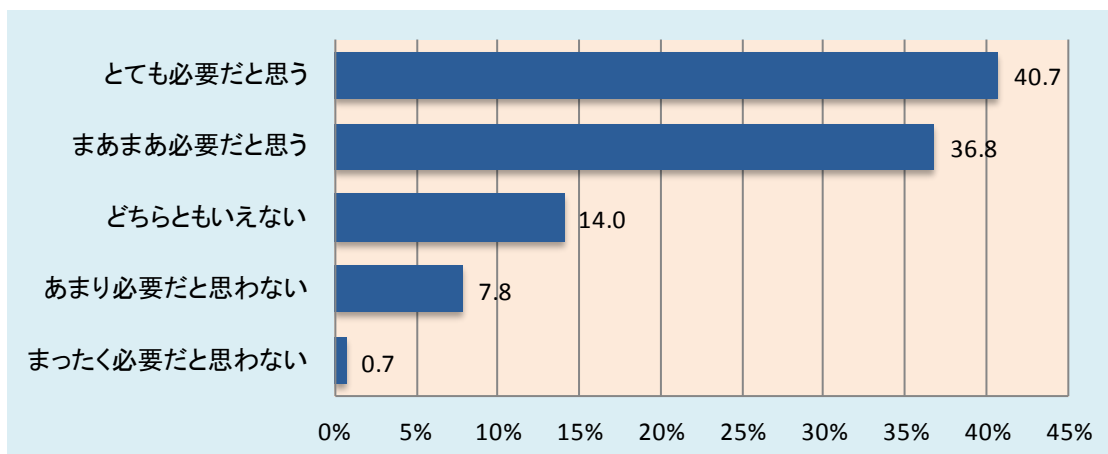
Q17. 公式機関としての外部向けのパークールの簡単な説明とトレーサー向けの幅広い定義の公開 (n=307)



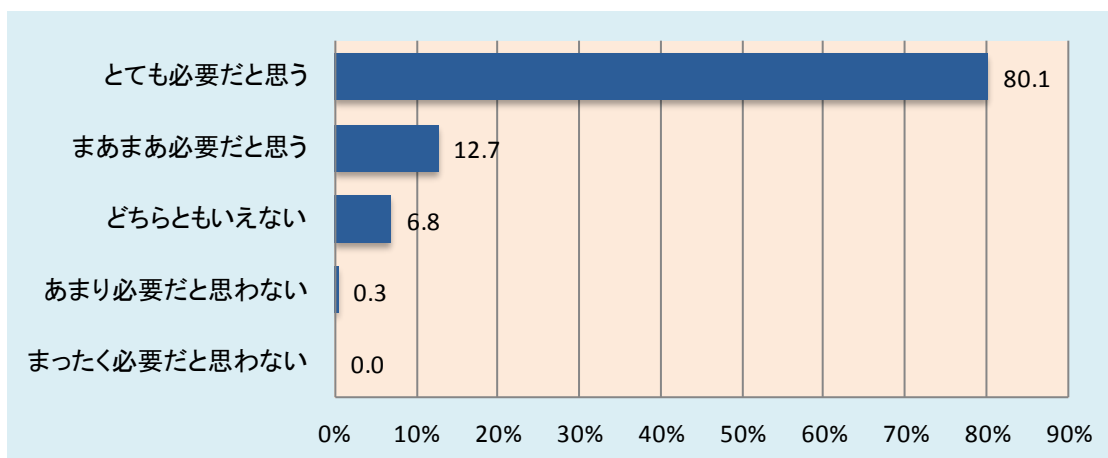
Q18. 全国のトレーサーを対象としたアンケートによるトレーサー人口、チーム数、男女比、ニーズ、意見などの調査と公開 (n=307)



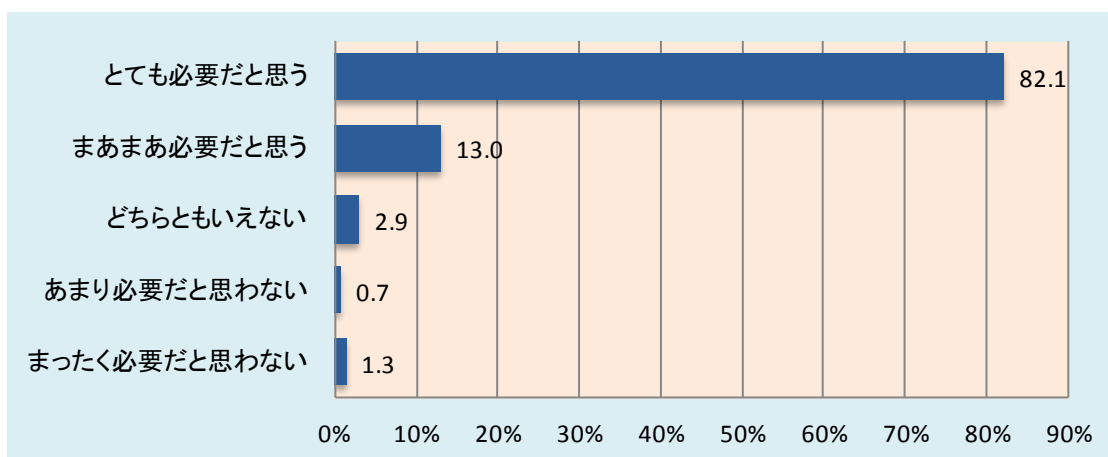
Q19. パークールの歴史の編纂と公開 (n=307)



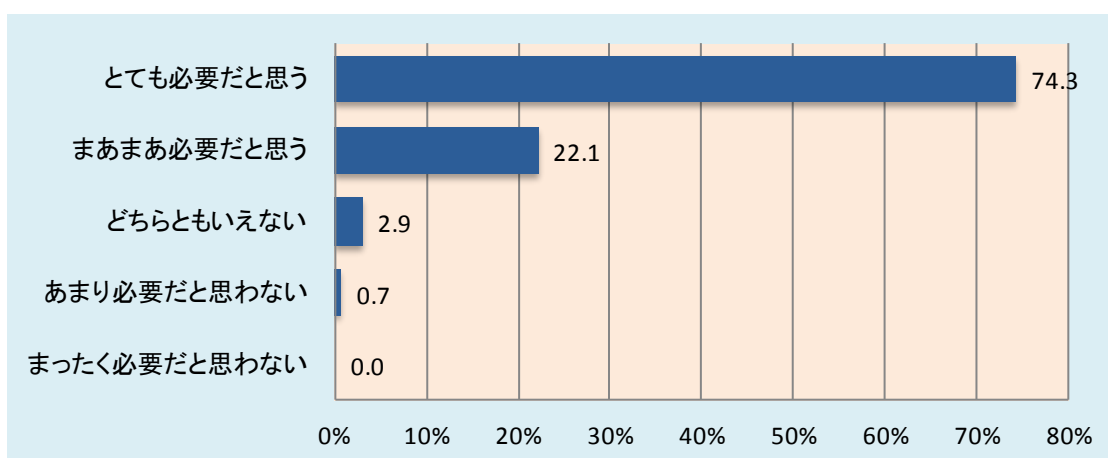
Q20. 初心者向けの基礎トレーニング、ストレッチの方法などの公開 (n=307)



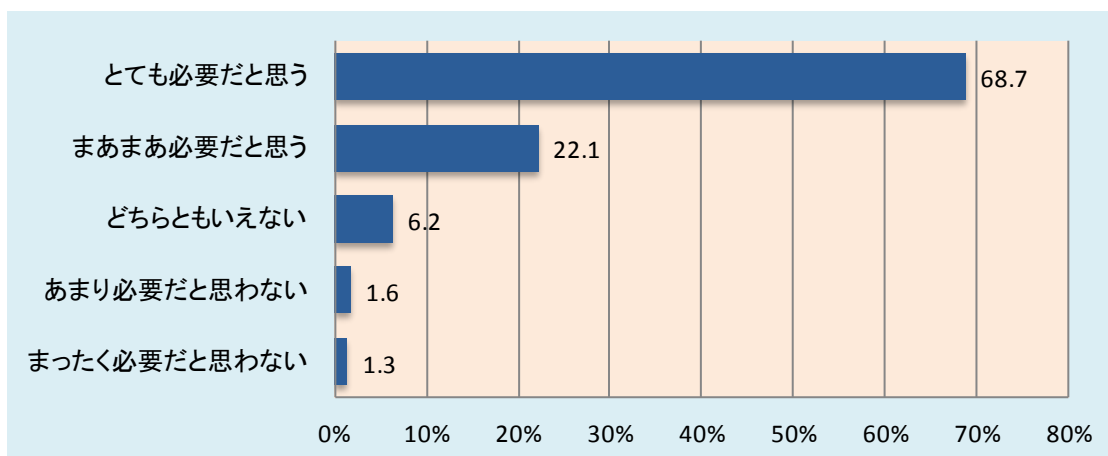
Q21. スポットの選び方と利用時のルール・モラル・マナーの明示 (n=307)



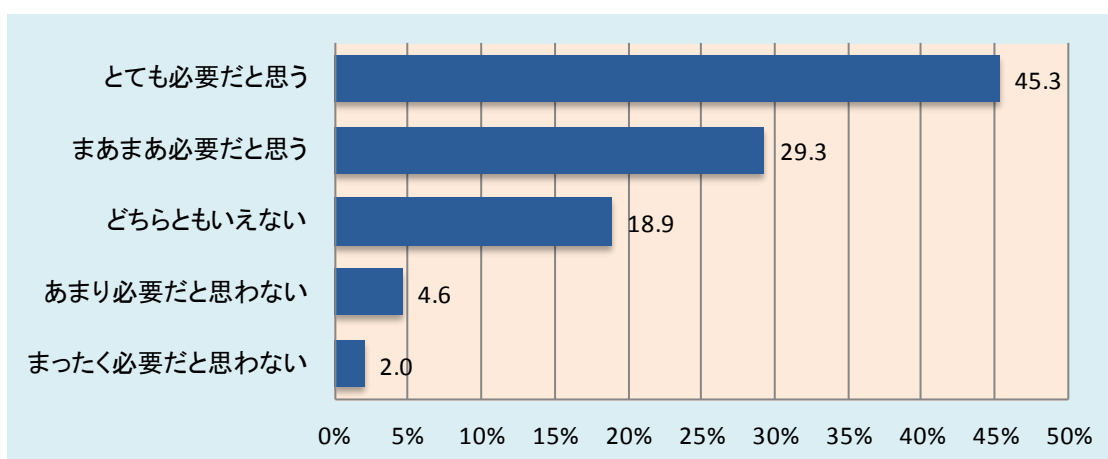
Q22. パルクールにおいて発生しうるけがの情報と練習中の応急処置の明示 (n=307)



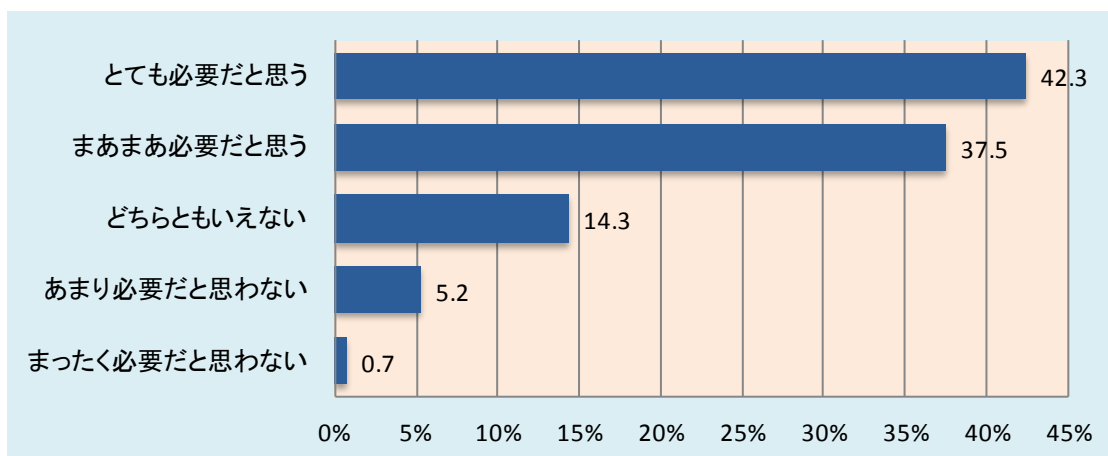
Q23. 練習中に物を壊した場合の対応法の公開 (n=307)



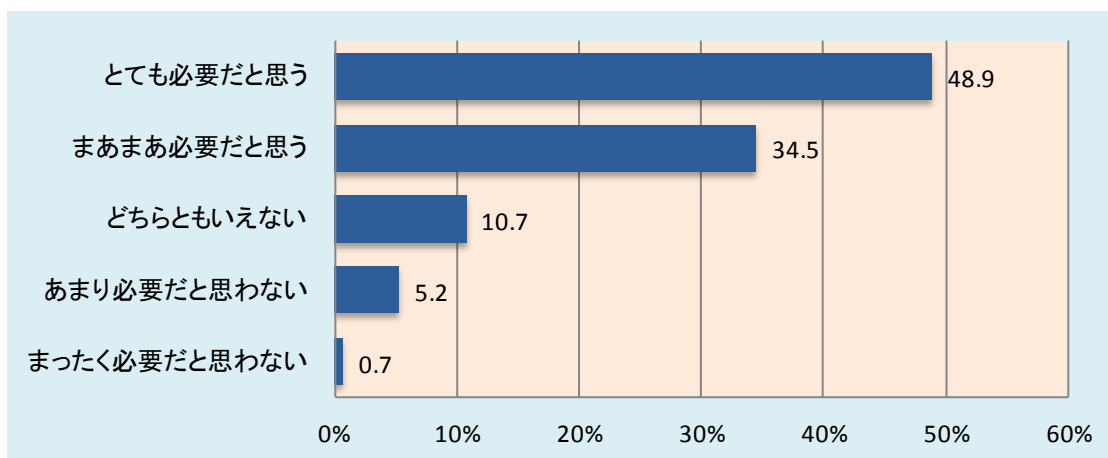
Q24. パルクールに対するクレーム・意見・要望などの総合窓口の設置 (n=307)



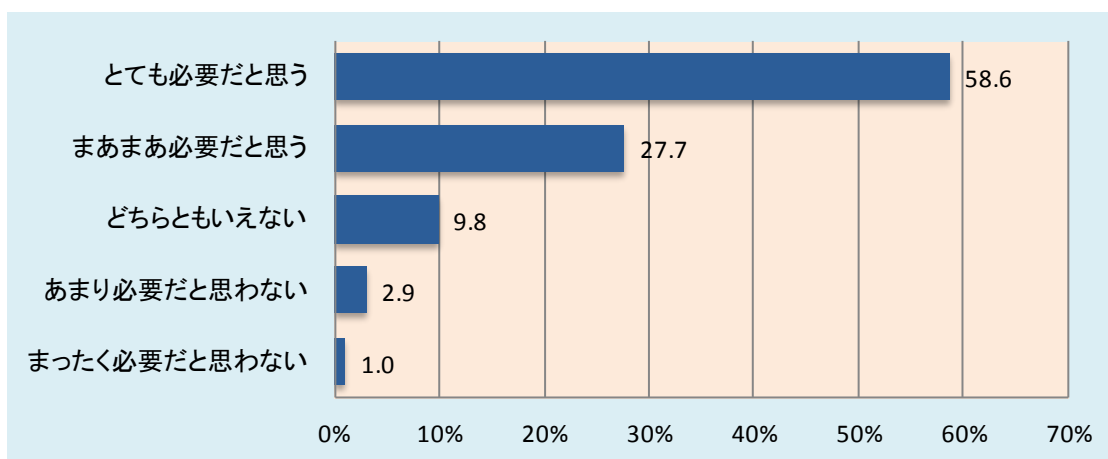
Q25. 国内トレーサーへのインタビュー動画やイベントのプロモーション動画などの配信 (n=307)



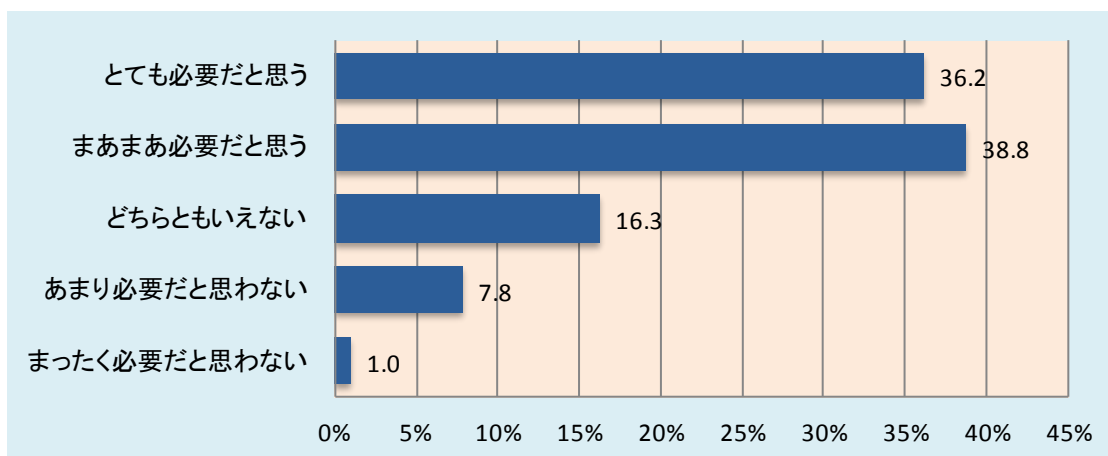
Q26. パルクールの簡単な動画講座の配信 (n=307)



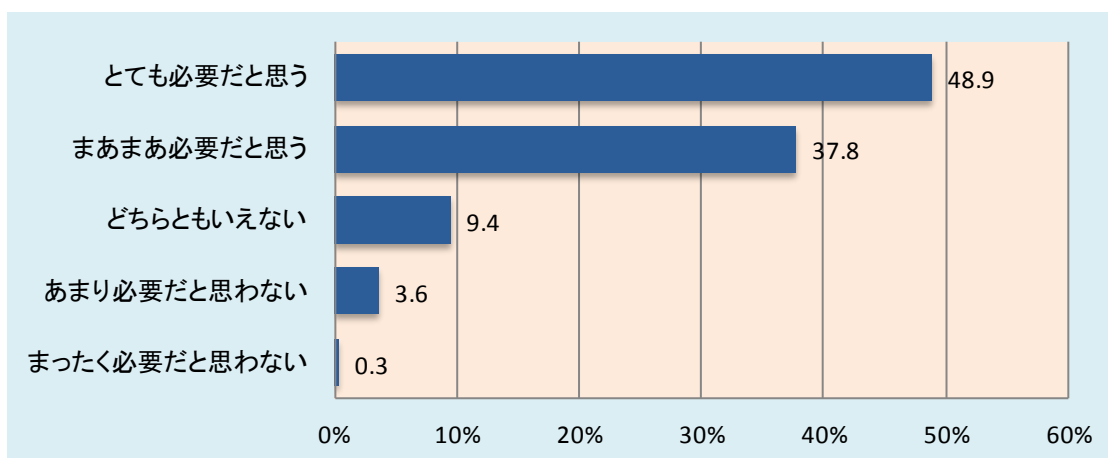
Q27. パルクールにおける危険・違法行為に関する注意喚起のテロップ作成 (n=307)



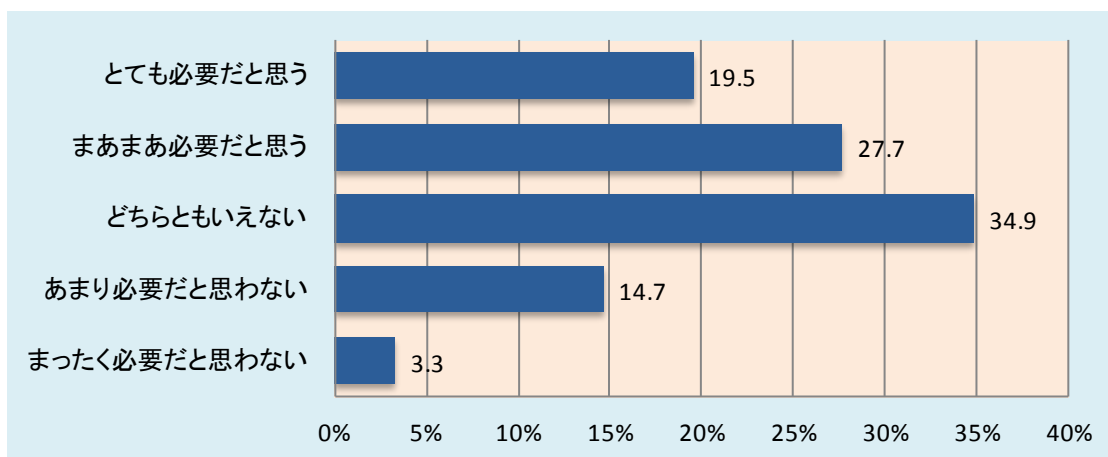
Q28. 国内外のパルクール事情、日本のトレーサー取材記事を掲載する Web マガジンの刊行 (n=307)



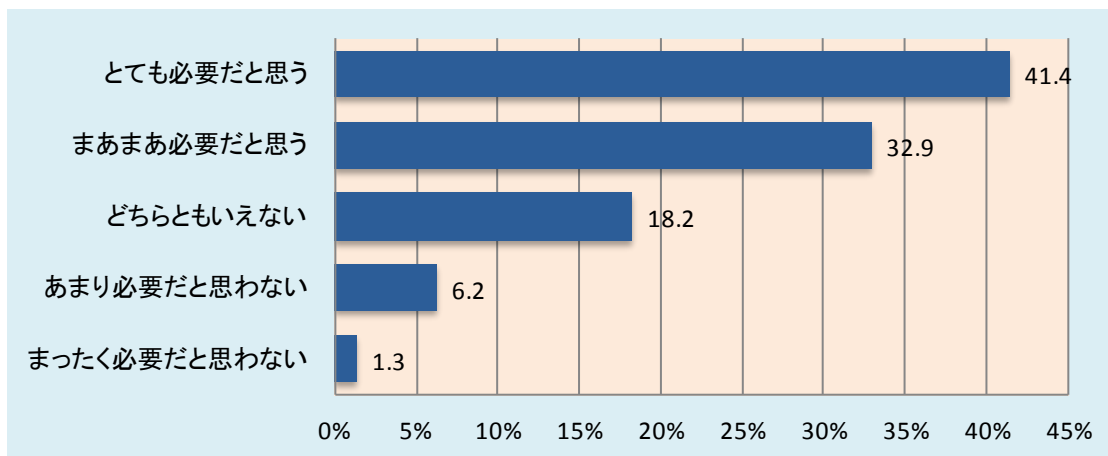
Q29. 国外のパークール情報を翻訳したもの、国内のイベントや活動の紹介をするニュースの作成 (n=307)



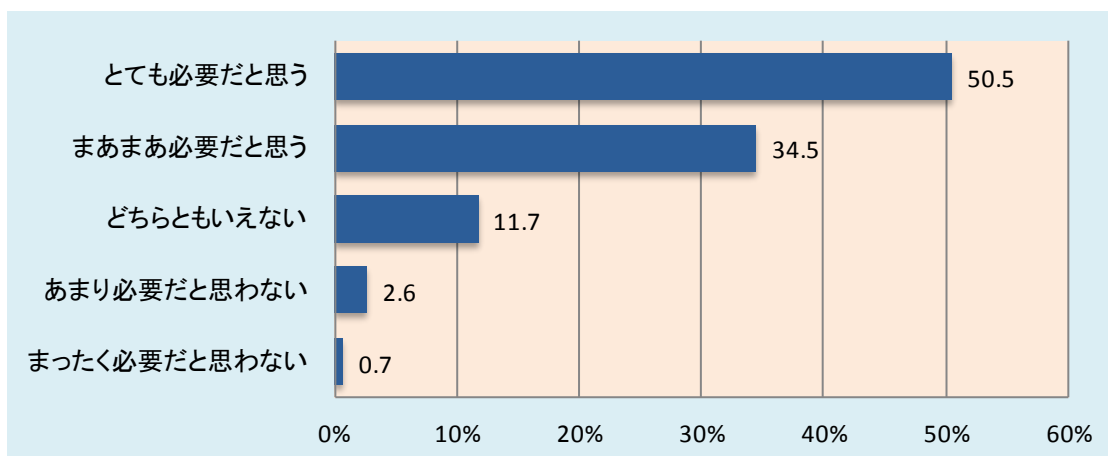
Q30. トレーサー対談型ネットラジオの配信 (n=307)



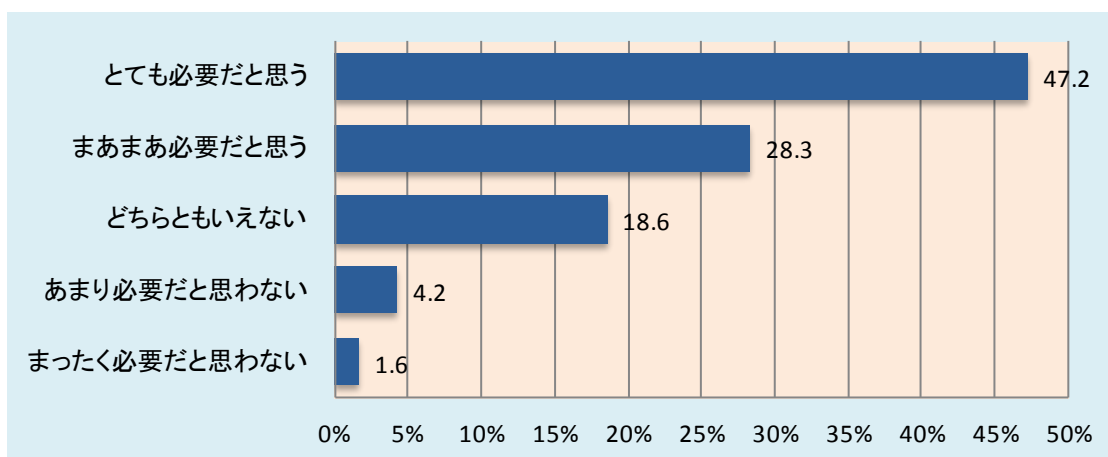
Q31. 合宿型のパークールイベントの開催 (n=307)



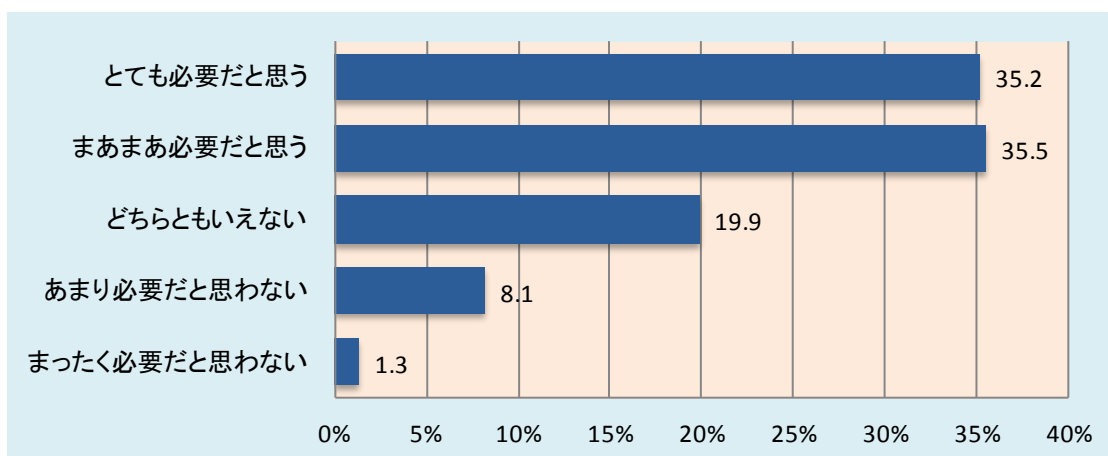
Q32. イベントスペースで大規模セットを組む国内最大規模練習会の開催 (n=307)



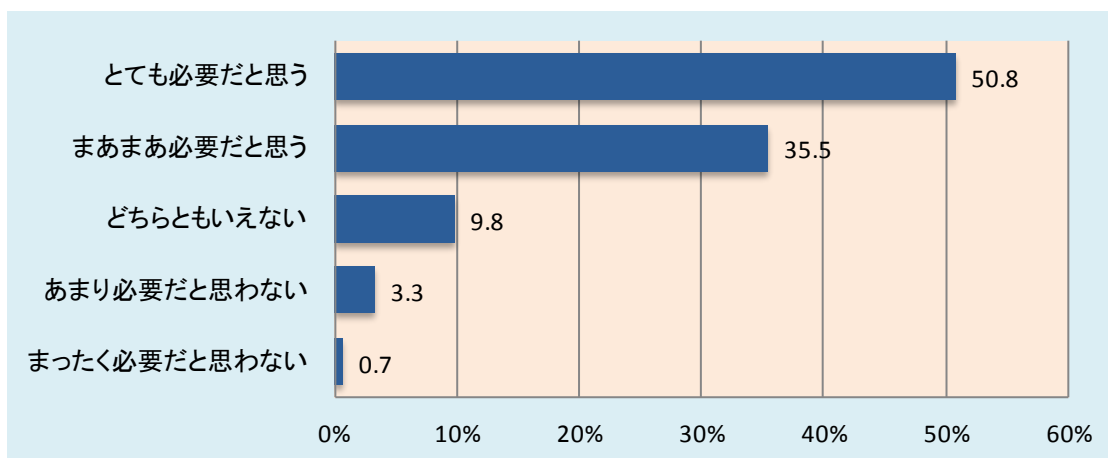
Q33. RedBull Art of Motion のような全国的なショーケースの開催 (n=307)



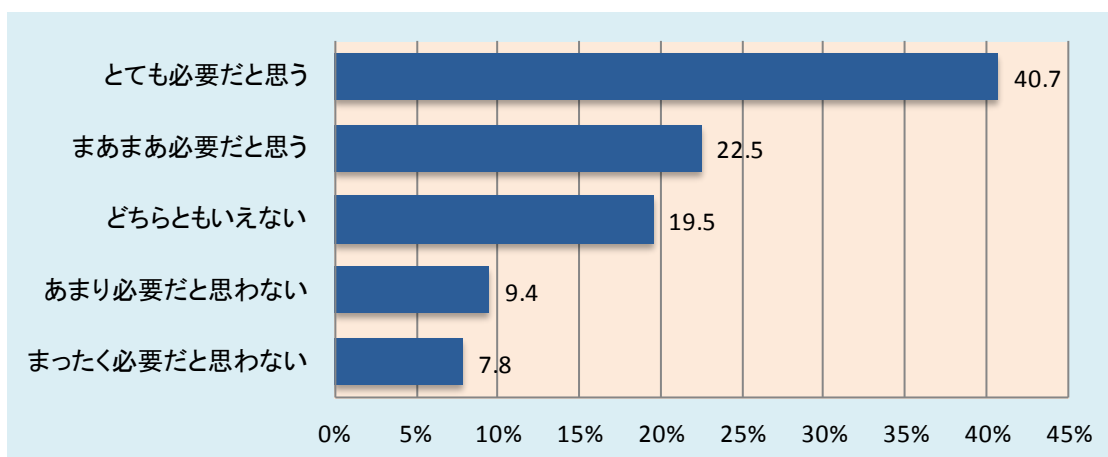
Q34. パルクール以外でのトレーサー同士の交流イベントの開催 (n=307)



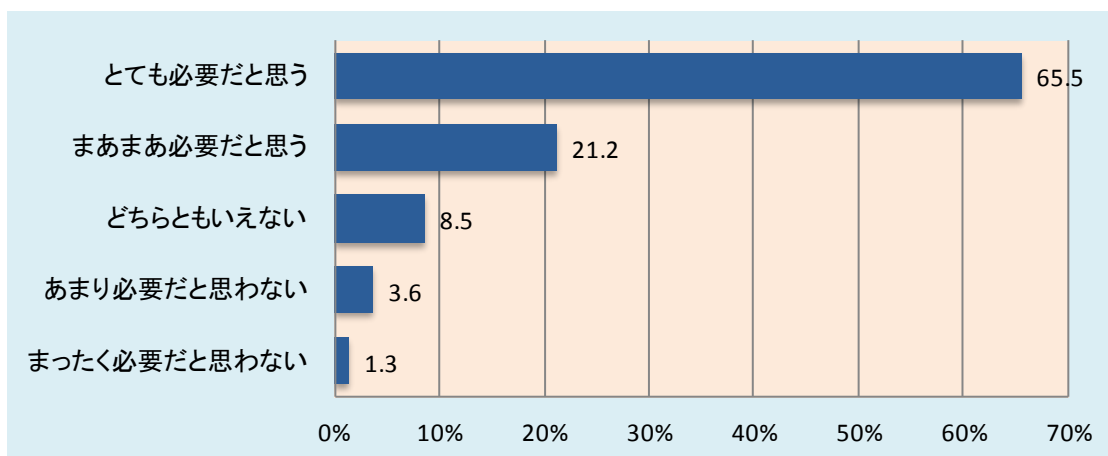
Q35. 地域の運動教室やスポーツイベント・フェスなどでのワークショップ開催 (n=307)



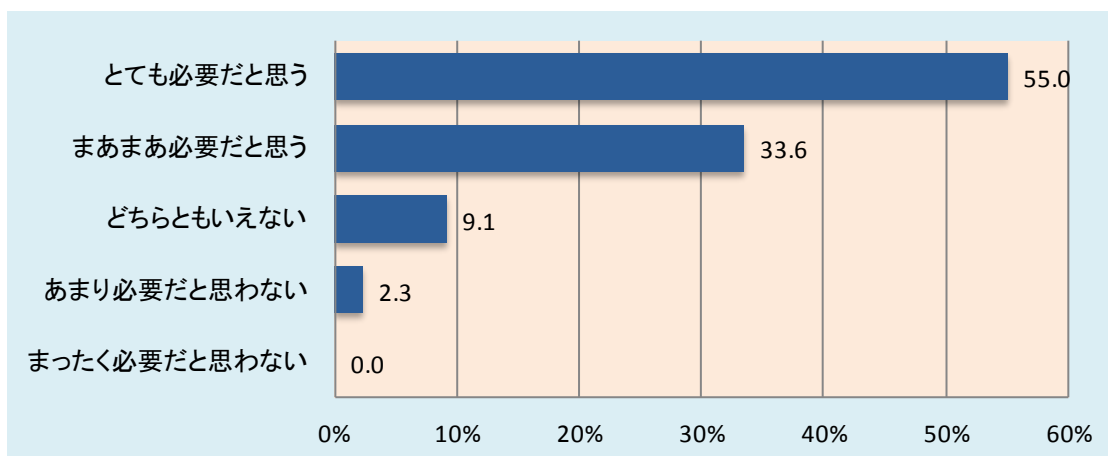
Q36. 公私立問わず体育やレクリエーションの場へのパルクールの導入 (n=307)



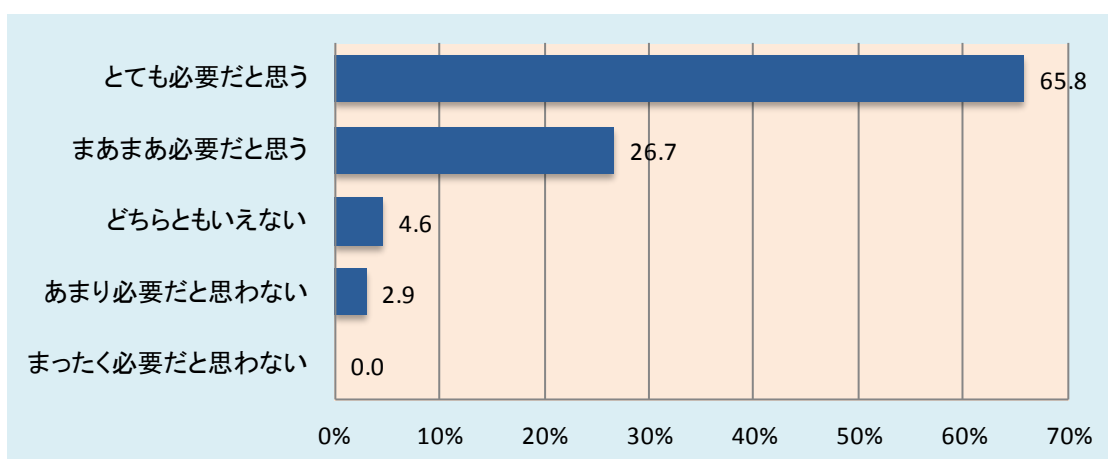
Q37. 屋外パルクールパークの設置交渉 (n=307)



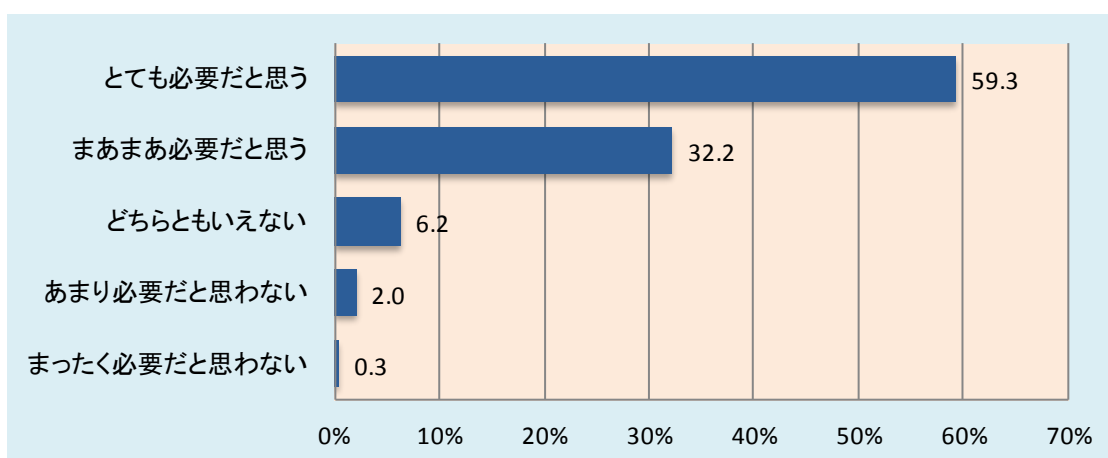
Q38. スポットの掃除および地域の告知された清掃活動への参加 (n=307)



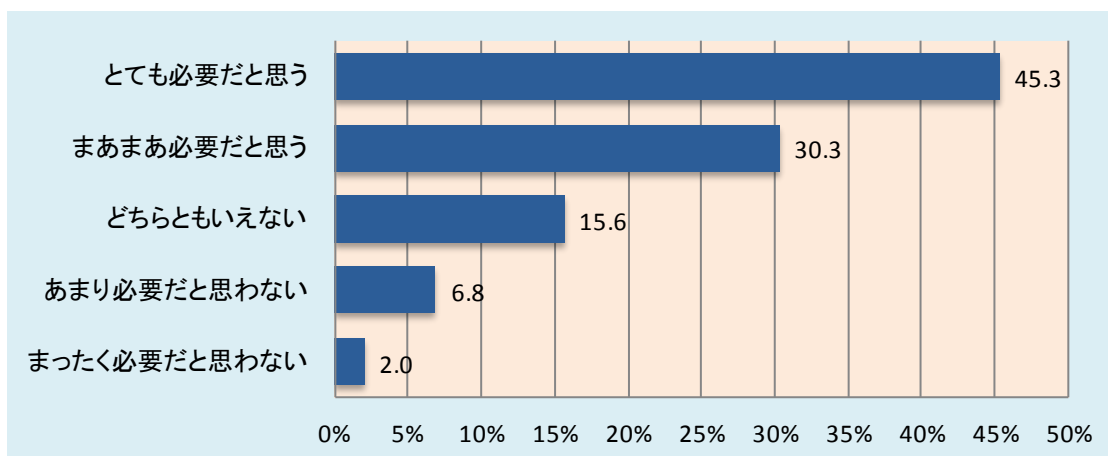
Q39. パルクールでの使用許可が下りている施設や利用の注意等の掲載 (n=307)



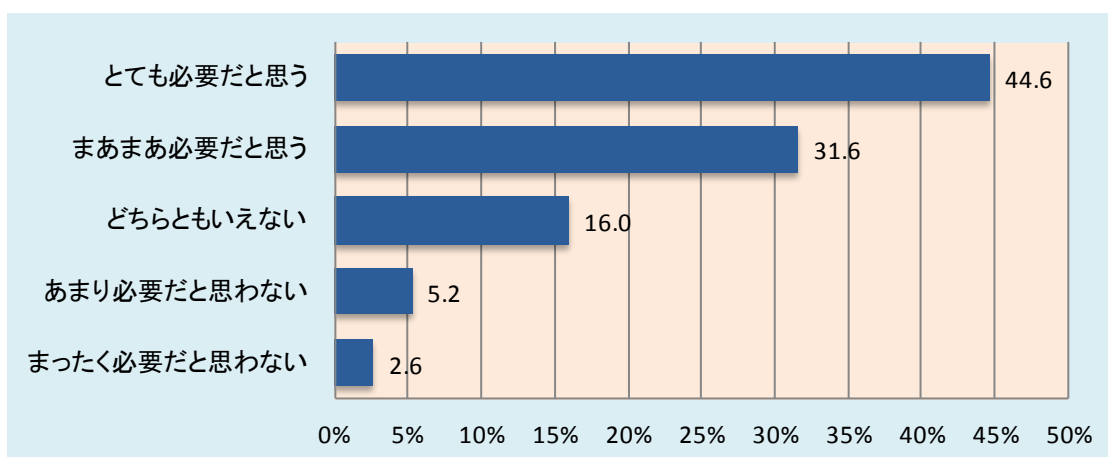
Q40. 練習会の開催や運営の参考となるガイドラインの公開 (n=307)



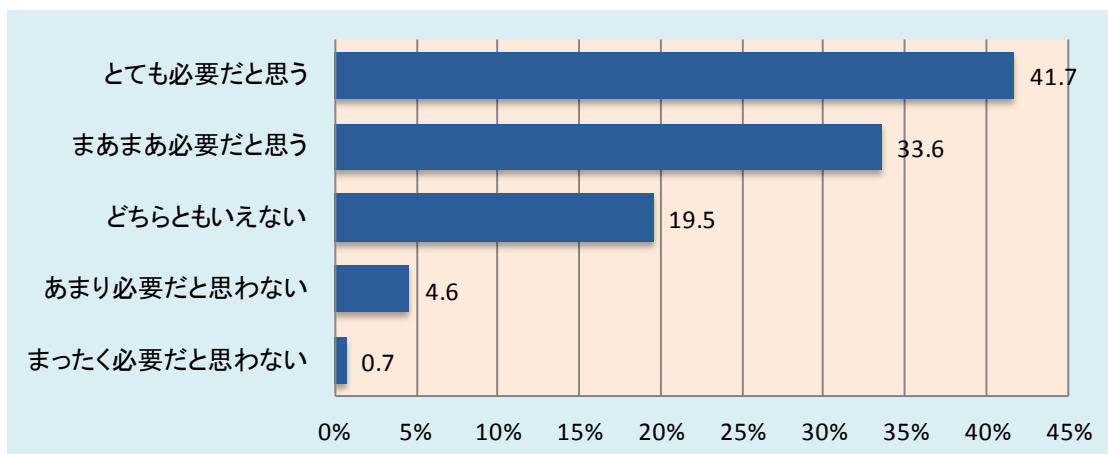
Q41. 各県に数人を目指した指導者の育成システムの整備 (n=307)



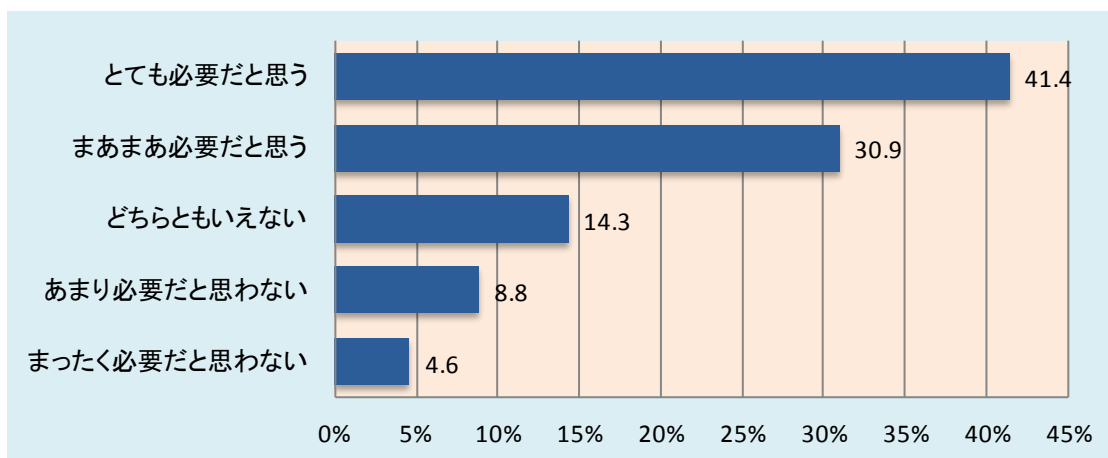
Q42. ADAPT (ヨーロッパのパルクール指導資格) を受講できる環境の整備、または日本における指導資格の策定 (n=307)



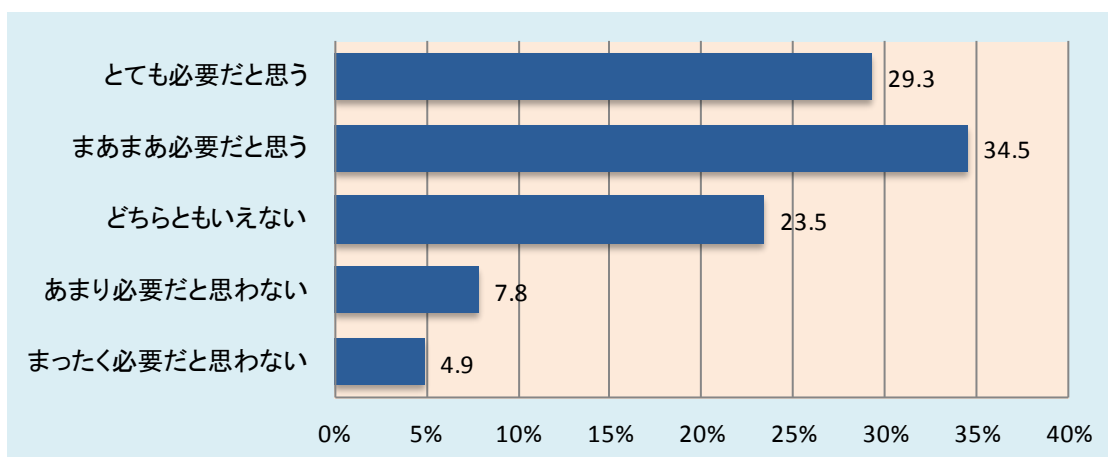
Q43. 指導者育成を目的としたパルクールインストラクター養成ワークショップの開催 (n=307)



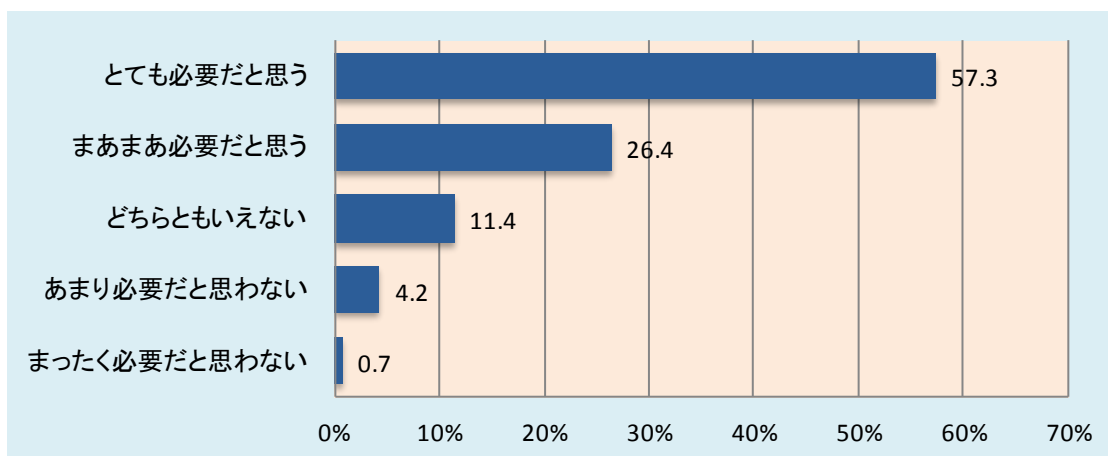
Q44. T シャツ、靴などのパルクールウェアの販売 (n=307)



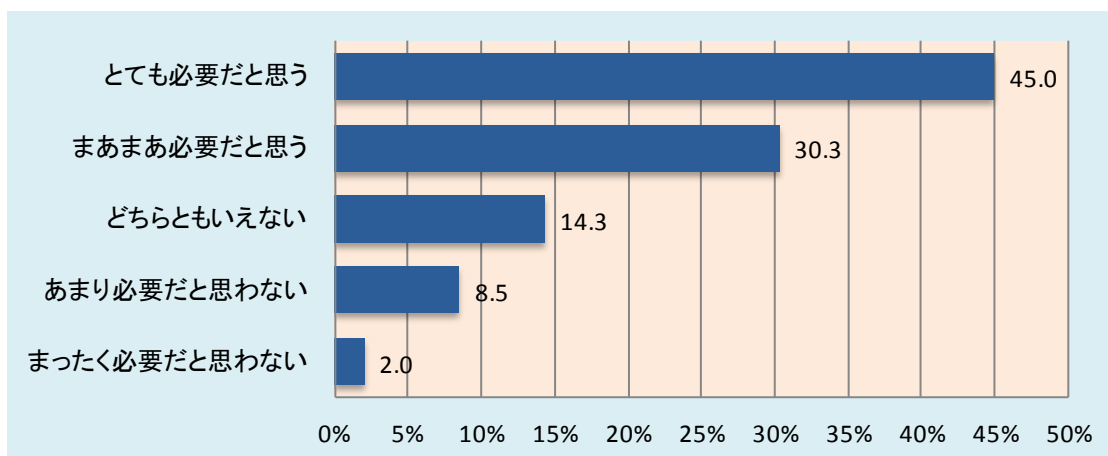
Q45. パルクールのガイドブックや DVD などの作成・販売 (n=307)



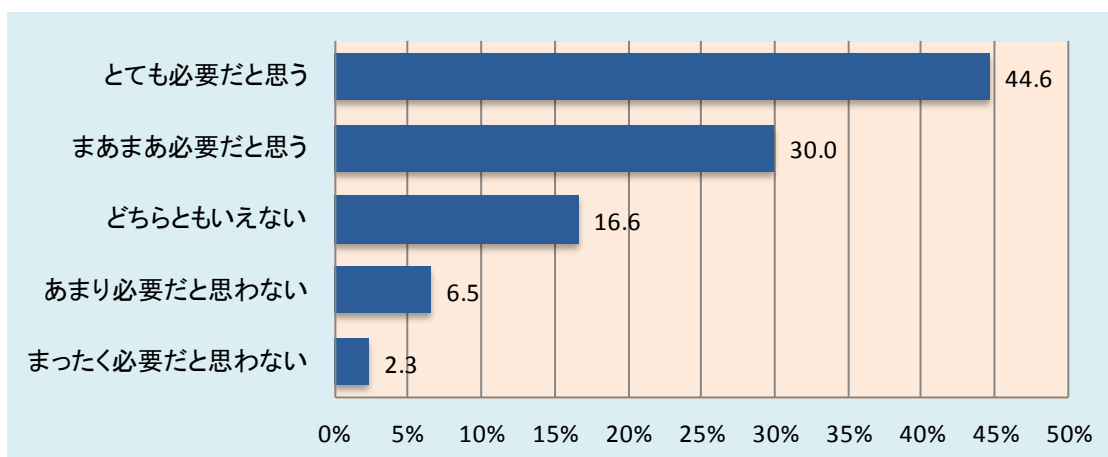
Q46. パルクールのコミュニティが発達していない地域で練習仲間を見つけられるサービス (n=307)



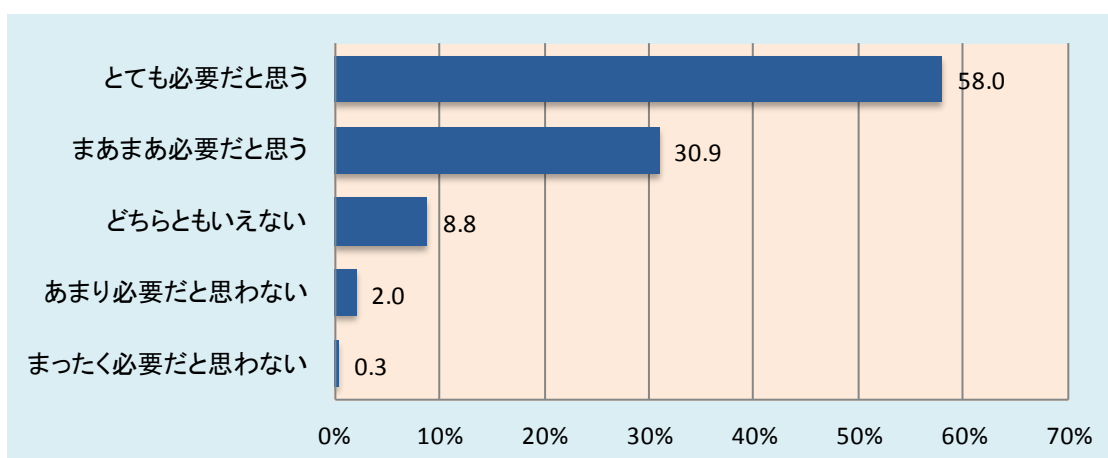
Q47. 47都道府県にいるトレーサーを調べ、お互いに連絡できるサービス (n=307)



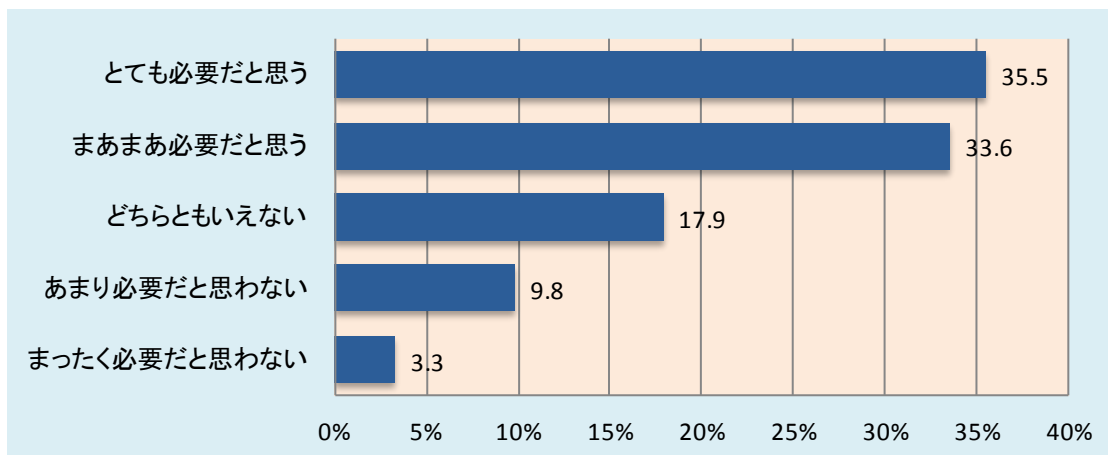
Q48. 全国のパルクルームの一覧の作成 (n=307)



Q49. 全国で開催される練習会情報の一覧の作成 (n=307)

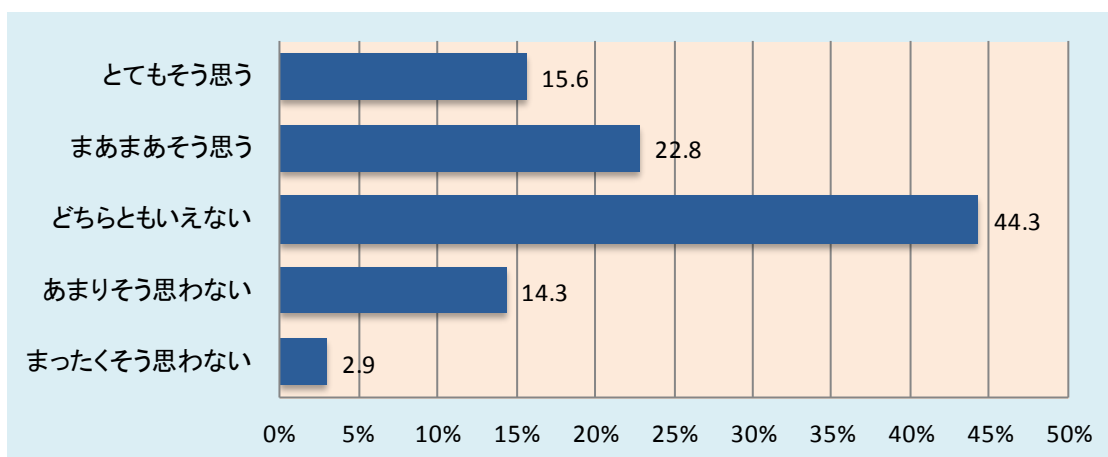


Q50. インターネット上で誰もがパルクールの議論、話し合い、交流などを持てる掲示板の設置 (n=307)

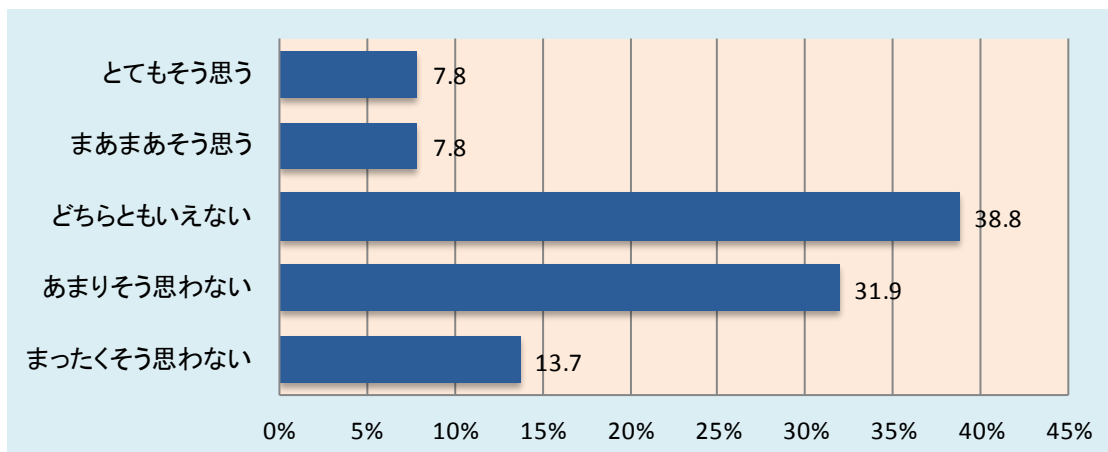


4) パルクールにおける社会的側面

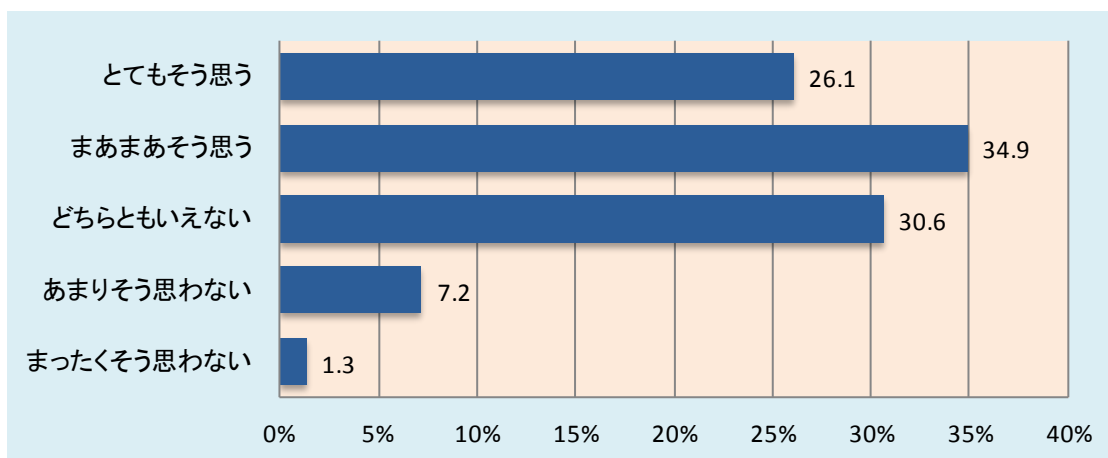
Q51. 公共物(建物やその外壁・柵等)をパルクールに利用するのは良いことである (n=307)



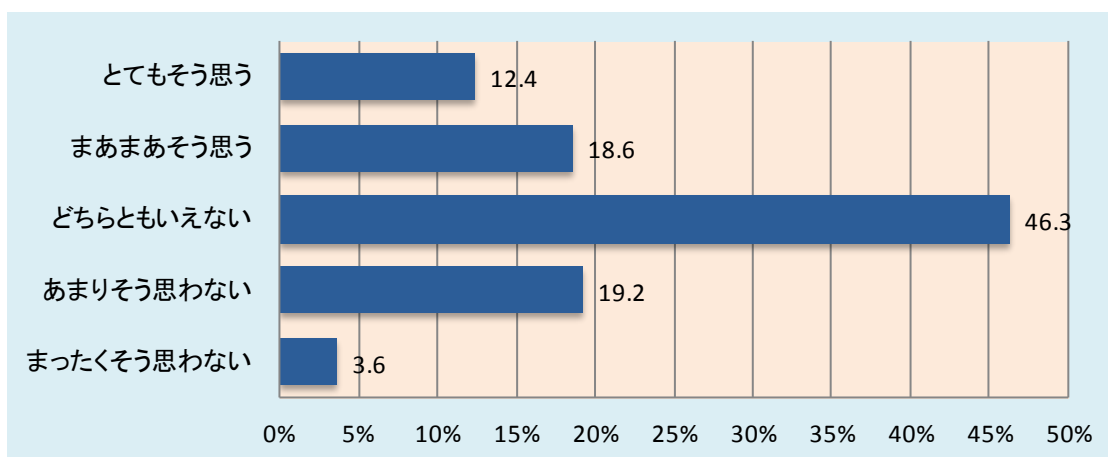
Q52. 私有地(店舗・駐車場・学校の敷地等)をパルクールに利用するのは良いことである (n=307)



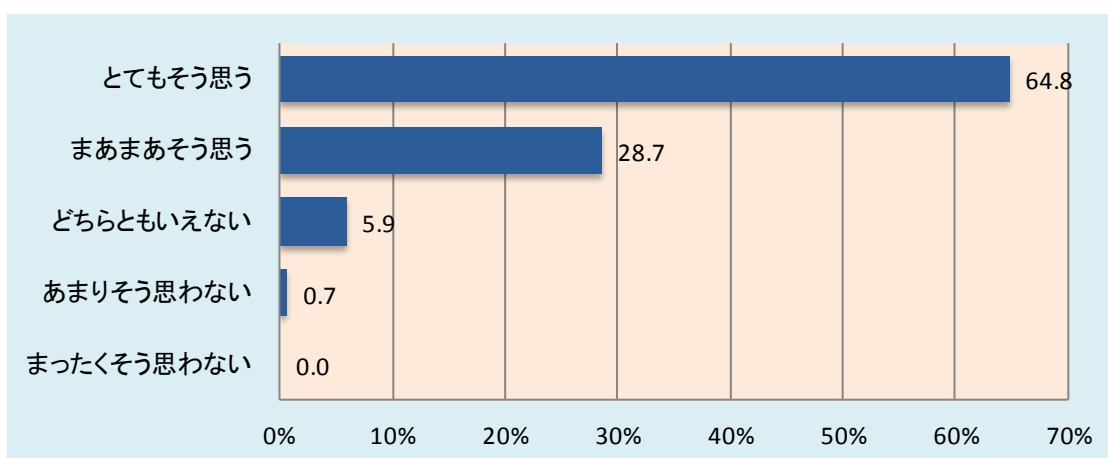
Q53. 公園の遊具をパークールに利用するのは良いことである (n=307)



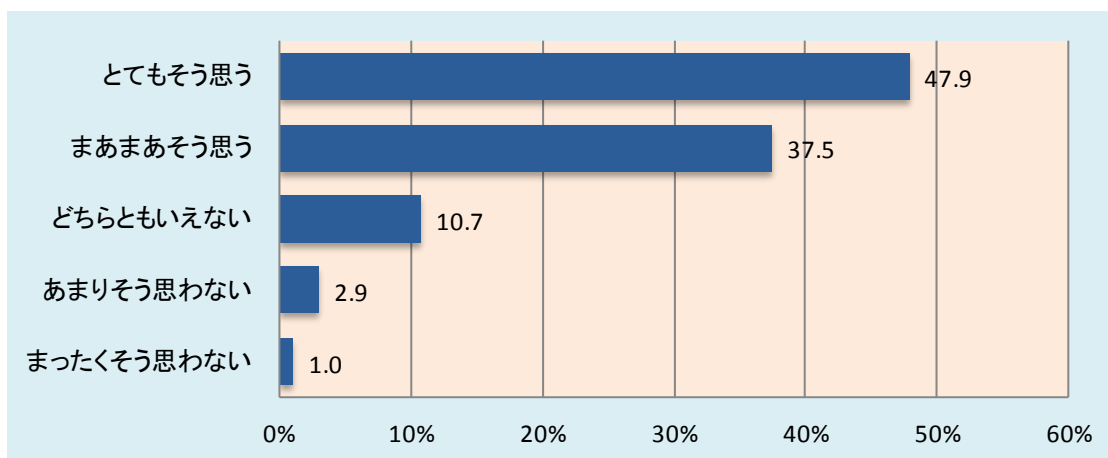
Q54. 街中でパークールをするのは良いことである (n=307)



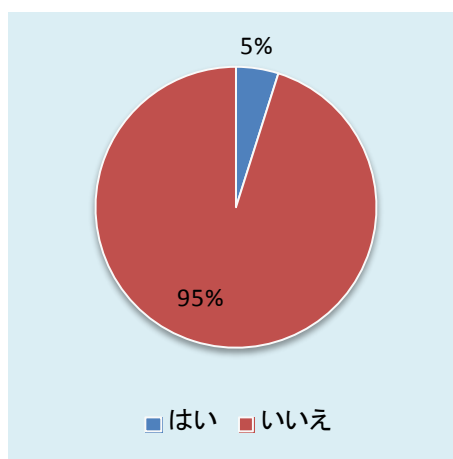
Q55. 不法行為に関する注意喚起・警告は必要である (n=307)



Q56. スポットの清掃活動を行うべきである (n=307)



Q57. 現在、パルクールは社会的に理解されていると思いますか？ (n=307)



Q58. Q57で「はい」を選んだ方にお聞きします。なぜそのように思いますか？(自由記述)

—メディアに関する意見—

- メディアが以前のように、センセーショナルな取り上げ方をしなくなってきた。具体的言うならば、「エクストリームスポーツ」や「びっくり仰天映像」などではなく、本質的な理念なども紹介されつつある。
- ニュースなどで取り上げられたことがあったから。
- 最近はテレビでもパルクールの事があげられるようになっているから。
- コマーシャルでも使われるから。
- 理解されて無かったら広まらないと思う。AOMとか数名のトレーサーはCM、PVに使われたりしているしね。

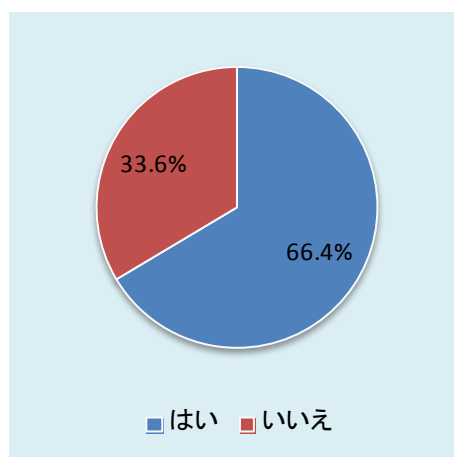
—練習に関する意見—

- 通行人が立ち止まって見てくれることがあるから。
- 俺はスケボーもやっているけど、街中で滑るとやっぱり冷たい目で見られる。うるさいしね。でもパークールだと話しかけてくれる人もいるし冷たい感覚は一切ない。だから理解はされていると思う。
- 北海道の場合ですが、公共物、私有地など、街中でパークールをしても、応援してくれる場合の方が多く、中には「あっ、パークールだ！」と言って、パークールを知っている人もいるから。

—その他の意見—

- 日本では社会問題にされるほど発達していない。
- 世間にそれほど認知されていない分、悪いイメージもそれほどないと思うから。
- 実際認知されているトレーサーを見ると少ないように見えるけど、隠れトレーサーはかなりいると思うし、少なくとも嫌われているスポーツではないと思うから。
- 他の国でもパークールは、とても知られているのでパークールは少しずつ理解されていると思います。
- 運動は良いことだから。
- 大会が開催されるから。

Q59. Q57で「いいえ」を選んだ方にお聞きします。今後、パークールは社会的に理解されると思いますか？ (n=292)



Q60. Q59で「はい」を選んだ方にお聞きします。そのように思う理由を記述してください。

—パークールの認識、認知度、印象に関する意見—

- 現状では、「街中で若者が危ない事をする」といった認識が一人歩きしているため厳しいでしょう。しかし、最近になって年齢層がかなり幅広くなってまいりました。しっかりした大人の方がバックアップに着く事により、周囲の誤認識を阻止できるのでは、と考えるからです。
- パークール・フリーランニングの認知度が低く、ルールやモラルに関しての許容範囲がバラバラなのが現在ですが、協会やチームが増えることで、日本国内でもスポーツとしての認知が進むと思います。ただ少し気がかりなのは、周知が中途半端に終わる可能性と、それによるスケートボードなどのようなマイナスイメージの定着化です。
- 今社会でパークールを批判している人たちというのは、パークールについてあまり知識を持たず、偏見を持ってパークールを見ているからであり、これからのパークールに関する知識を広げる活動によって、理解する人が増えていくと思うから。
- 今現在は、日本でのパークールの知名度が低いために良いイメージを持っている一般人の方が少ないと思います。正しい認識をしているのは、実際にパークールをしている方達や、その関係者だけだと思いますが、そういった正しく理解している人達が、正しく広めることができれば、社会に理解されると思います。というか、まだ始めたばかりですが、正しく広めたいです。
- 現在は ビルからビルへ飛び移るスポーツ かもしれませんが、徐々にレールバランスのような地味な動きもパークールの一部であることが理解されると思うからです。今は知名度が低いだけで協会ができれば、知名度も上がると思うから。
- 必ず安全確認を怠らない監視役などを服や帽子によって、誰にでもわかるように行えば街中では良いパフォーマンスになると思う。しかしそれでもMTBやスケートボードも含めて、視覚的には社会的反乱分子と捉えられかねない。日本におけるパークール普及には積極的なイベント参加などによる慈善活動に加えて、社会的に危険な反乱分子をトレーサーとを一般人が明確に区別できるイメージ作りが重要になると思う。
- 理解してもらえる社会になってほしい（学校とかでの規制があるため）。未だパークールを知らない子供から大人までの人達あるいは第三者機関に理解できるような詳細と情報を全て公開するべきだと思います。
- パークールを知らずに危ないなど、良くない発言や罵声があるので、ちゃんとしたスポーツだと知ってもらいたいから。
- 知名度が低いだけで、知らない人にとっては「カッコ良く暴れてるな～」と思われるかもしれないけど、パークールがだんだん人数も増えて社会に認識されると、責めてはスケボーぐらいは理解されると思う。

- 全然中身を知らないで批判している人ばかりだと思うのでしっかり説明すれば認知してもらえと思う。
- 悪いイメージを持っている人が多いと思うのでそこのごかいを解けば理解してくれる人が増えると思う。
- 今はそこまで有名では無いトレーサーなどは除き、公園なので動いていると子連れの親などに心配な目で見られるしまだ全国的には知られてないと思うので 好印象を持てるようにしていけば認められると思います。
- 今はテレビとかの影響で悪いイメージがついてますけど、誤解を解けばいいイメージに転換できると思うからです！
- 地域における専門的な活動においては既に認められているから。広範囲で認められるかどうかは不明。
- このようなアンケートを取るようになりこの行動でパルクールが広まって理解してくれると信じているから。
- パルクールの本質を知っていただければ理解してくださると思うから。
- これを期にパルクールに関しての正しい情報が伝わると思ったから。
- パルクールとは、どういうものか広告などしたら理解されると思う。
- 「パルクール」がどういうものかがもっと広まったら、理解されると思います。
- 知名度が上がれば正しいことを伝えれば少しずつではあるが理解されると思う。
- パルクールの知識があれば理解してくれると思うから。
- これからパルクールの印象をかえていけばよいから。
- 周りに理解されないと誤解を招く。
- しっかりとひろめることができればできるかと。
- ただ危険行為ではなく あくまでトレーニングの応用だと。
- パルクールでしか味わえないものの理解度が深まっていくと思うから。
- まだ、パルクールの存在が有名でないので、それがわかってもらえたら理解されるとおもう。
- 時間はかかるかもしれないが、パルクールに関する正しい情報を伝えていけば徐々に理解されていくと思うから。
- 人がそれを定するのは無知ゆえであるから。
- パルクールを広く知ってもらい根本的な理念などを理解してもらえば立派なスポーツであることが知ってもらえると思うから。
- まだまだ誤解されているため。
- パルクールを知らない人がこの機会で見ることができるようになると思うから。
- もっとパルクールが有名になってみんなが知るようになると思うから。
- いまはまだあまり知られてないだけだから ♪(o・ω・)ノ))

ーパークールのマナー・ルールに関する意見ー

- パークールに関わる人間一人一人がルールやマナーに配慮し人としてモラルのある行動をすることや、地域の住民の方からも理解が得られるような何らかの働きかけを行っていく必要があると思っています。どうしてもストリートやアングラな雰囲気、全貌が一般の方に見えにくいスポーツや活動は第三者から見てイメージが良くないと思っているからです。しかし、協会を設立し外部（社会に対して）に情報発信、開示を行っていくことでそのような雰囲気は緩まるとしています。時間はかかると思いますが。
- 今はパークール自体の知名度が低いため今後知られていけば理解も得られるが そのためにはマナーやルールの徹底が重要であると考えます。
- 歴史的経緯は詳しくは知らないが、ヨーロッパでは理解されるようになった。日本のトレーサーもパークールを知らない人への対応を怠らず、マナーを守り活動することが出来れば理解されることは難しくない。パークール協会の活動の開始も理解への要因になると思う。
- はい、というか、そうなって欲しいという希望です。でも最近はドラマやCM でも見かけるようになってきたし、認知は少しずつさされてきていると思います。後は、やっぱりマナーと危険性の呼びかけはすごく大事なことと思うので、協会がきちんと出来て指針のようなものが確立されたら、きっと、理解はされると思います。
- パークールというスポーツをより知ってもらい、トレーサー一人一人がルールを守れば体に制限を掛けない自由なスポーツとして、理解されると思うから。
- アンケート質問に見られるように清掃等よいイメージをつけることと。こういう事（危険、迷惑行為）は、パークール協会では認めていないです。見たいなガイドラインを公表すれば、認めてもらえそうな気がする。
- 理解されていないというのは、知名度が低いという意味で。やる人のモラルがきちんとしていれば、知名度が上がって知られても問題なく受け入れられるのではないかと。
- なんとも言えないですが、悪い面を極力なくしたいと思いました。正しい活動を行えば、パークールは理解されると思います。そのポテンシャルは持っているはずで
- パークールの本来の姿やマナーが今後徹底されるはず！

ートレーサーの振る舞いに関する意見ー

- 今後のトレーサーの活動やスポットにおける態度（清掃活動の有無など）などによっては認知され理解を得ることも十分に可能だと思う。
- パークール協会が設立されると、トレーサー同士の結びつきや、パークール人口の拡大が期待されるので、周囲への迷惑行為などに注意し、パークールとはなにかを

個々人が理解し、適切に説明や紹介をすることが出来れば、社会的に確立されたスポーツになると思うから。

- これからパルクールがどのようなものなのか、ただむやみに練習もせずにパフォーマンスに用いるには危険なスポーツであること、怪我をしないために順練りに練習を重ねて技を磨いていくちゃんとしたスポーツなんだということなどを時間がかかるだろうけど少しずつトレーサーや関係者達が社会に公表していつか理解される日が来ると思っているから。(言葉足らずで申し訳ありません)
- 私がお会いした講師の方は、どの方も全くの初心者の私に親切にしてくださって、とても有難く、また嬉しく感じ、私がお会いできた方々のような方がきっともっと沢山いらっしゃると感じ、将来魅力的なトレーサーがもっと増えてくれば、その様子を見た人が、パルクールに魅力を感じて下さって、やってみようと思う人も増えることにつながると思います。
- "理解される"ではなく"理解を得る"に限定した意見として、素行と成果次第で理解は得られると思います。"理解される"は難しい。インディアカ、セパタクロ、カバディなど、歴史はあっても理解されて無いスポーツの方が多い。
- 現在、全国各地のトレーサーはパルクールが社会的に理解されるように努力している。例えばパルクールが社会的に理解されていなくても、その人々の行動によって少しずつパルクールが理解されていくと思う。
- トレーサー、一人一人が何かしら行動さえすれば理解はされると思います。
- 秩序を守って積極的にアピールし続けていけば実を結ぶと思うから。
- パルクールの良い面を際立たせることで、人々の印象を変えることができるから。これからのトレーサーの意識と行動次第だと思うから。
- どのようなものでも理解はされると思うからです。しかし、それがどのように理解されるかは、今後の我々トレーサーにかかっていると思います。
- 1人1人の意思をちゃんと伝えれば分かり合えると思っています。
- トレーサー達で協力して、社会、この世の中に認められるために努力していく。
- 理解してもらおうとする人がいるから。
- 理解してもらおう努力をする。
- 今後のトレーサーの活動、行動によって大きく左右されると思う。
- 今後のパルクール界の振る舞いによってどちらにもなる
- パルクールが理解されて欲しい人達が一杯いるからです。

—海外のパルクール事情に関する意見—

- 海外ではパルクールはすでに一般的です。それに対して日本ではパルクールは一般の人からの認識・理解が薄い、パルクールというと「凄い運動神経の人が妙なことでして、あれでしょ」みたいな返答が多いです。その理由は、パルクールが日本

に広まってまだ時が経ていないことだと思います。このたび協会が設立して、多くの人が堂々とパルクールができるようになり、社会的な理解も得られると思っています。

- ➡ ヨーロッパであれだけ発達している上、現在、若者のトレーサー集団が多数あるので、その年代が大人になるにつれて高い年齢層での認知度も上がるから。
- ➡ 日本はやはり頭の固い大人が多いし文化的に凄く伝統とか"普通"である事を重んじるから難しいかもしれないけど、デンマーク、イギリスやアメリカなどを見てると今のレベルの低い日本パルクール界の皮から抜け出してモラル的にも技術的にも社会に認められるプロ意識を持ったトレーサーが増えたら確実に可能だと思う。あとパルクールを遊びから一つの文化として立ち上げる事とトレーサー同士の横の繋がりを築く事もプロセスにおいて大切だと思う。
- ➡ 認められている国があるなら時間はかかるけども何は日本もそうなれるはず。
- ➡ 海外であれだけ広まっているのだから、日本でだって正しく広まれば、理解してもらえると思う。
- ➡ 現在国外のいくつかの国では理解されつつあるから。
- ➡ 外国で理解されているスポーツが、日本で理解されないのは少しおかしい。
- ➡ 海外で理解されたように日本でも理解されていくはず。
- ➡ ドイツでは社会的に理解されたので 日本でも理解されることはありえると思います。

—パルクールの運動的性質に関する意見—

- ➡ パルクールを用いた公的な場での教育活動で、身体能力および機能が改善されたという実証・報告が増加すると予想されるため。現在、一部の地域で行政・教育と密着した教育活動が行われている。こういった活動が全国的に広がれば、直接恩恵を受けた層だけでなく、その家族や関係者にも良い面が伝わり、パルクールが広く受け入れられる土壌ができると考えられる。
- ➡ PK は、運動に関わる全ての分野に応用可能であり、身体パフォーマンス向上に最も有益であると考えられるから。
- ➡ 国外でのパルクール・フリーランニングの理解は広まってきている。また現代の子供に転倒して顔をぶついたり骨折したりと運動不足が目立ってきていることから、危険回避能力向上の運動法として効果的と考えられる。
- ➡ 子供の身体能力の低下や社会問題にされている運動不足解消のトレーニングに良いとされたり、他のスポーツの競技能力向上の為のトレーニングや警察や消防や自衛隊などのトレーニングに有効だと働き掛けて伝われば、理解が得られると思う。今後パルクールが社会的に認められる活動を行おうと考えているため。
- ➡ 誤解さえ無ければ、これほど手軽で楽しく、カッコよく、役に立つ運動は他にない。

間違いなく理解される。

- 本来持つべき身体能力を身につけるために必要な要素が詰まっているから。
- 最近是一般人の健康意識が高まってきているから。
- フィットネス感覚での広い普及があり得る。

—パルクールの精神的性質に関する意見—

- これからスポーツのあり方自体が変わっていくように思うため。かつての部活至上主義の根性論的スポーツから人生を充実させるための QOL としてのスポーツへ変わっていく。その中においては勝ち負けではなく、自分と向き合うことが重視されるパルクールは重宝される。他のスポーツに比べて圧倒的にコストが安く、かつ老若男女問わず始められ、一緒に練習できるのが強み。ただしそのためにはストリートカルチャーのイメージとは別の安全なスポーツのイメージを作っていく必要がある。
- スケボーや BMX などの道具を使わずして、身体を動かす楽しみや必要性を現代の運動不足気味の少年、青年達に伝えることができ、また強調性やコミュニケーション能力、道徳性、限界や恐怖心を超える感覚などの人間性を手軽に養うのに有効的だと思います。
- パルクールが社会的に理解されるのに重要なのは、パルクールが社会貢献出来るかどうかにかかっていると思います。地域の清掃活動から始まり、パルクールのマナー、モラル、精神性をしっかり実践し、パルクールが人間形成にとっても役立つのだと伝える。さらに、町興しの事業にも繋げて行けたら良いのではとおもいます。
- しっかりとした説明、地域への奉仕活動などをし、競技として以外のパルクールの精神を広める。また、トレーサーも個々の責任を自覚して活動に専念すれば必ず理解されるとおもう。
- 本質である「自己と見つめあう」という点が、フィットネス・エクササイズ的に認知されていけば、環境の整備に関して、協力機関が現れる可能性を感じる。
- パルクール運動により個人の表現方法の増加、基礎的運動力の強化、個人スポーツとしてのメンタル的成長が顕著であると思うから。
- 禅や武道に似た感覚があるのと、何しろ見ていて楽しく躍動的で格好イイ♪

—メディアに関する意見—

- メディア等での紹介方法も以前に比べると配慮が効いてきたように感じるから。また、パルクールは本来危険なものではないから。
- テレビとかで放送されているから パルクールはだんだん知られると思う。
- 日本でもパルクールを取り入れた CM などが放送され始めているから。
- 今後トレーサー人口が増え、メディアなどで取り上げられるようになり、パルクー

ルとゆうものが一般の人達に知られていくようになると思うため。

- 日本は真面目なところがあり厳しいですが、テレビなので紹介されるときもあるし、それに対してダメとは言っていないからです。サスケ（番組）などパルクールしてる日本人の映像が出ててそれに対して批判などなかったからです。
- 現時点でマスメディアには比較的否定的でない紹介のされ方をしているので、このまま行けばまず最低限の認知(なんか若い子がアクロバットしてるやつ程度)には知られるとは思いますが。ただ、とても危うい立場なのは間違い無いのでちょっとした事件・事故が起きてその後始末が悪いと一気にベクトルを真逆にされてしまうのでそれさえ気をつければ。
- 知名度が上がりメディアに取り上げられる数も増えてトレーサーが増えることがいずれ理解に繋がると思うから。
- 少しずつメディアでも取り上げてきていて今後、トレーサーの活動の仕方によっては理解されると思う。
- テレビやプロモーションビデオなど、意外と身近なところで起用されているから理解されると思います。
- 最近 TV や雑誌で紹介されはじめたから。
- 動画などを通していろんな人に知れ渡り始めてるから。
- ヨーロッパの国々でも2、3年前そうだったように日本でも普及が進み流行へと変遷していく段階であると、メディアでたまに取り上げられてるのを見て感じたから。
- テレビや雑誌などでパルクールが紹介されれば少しは理解してもらえんと思います。
- 動画などでどういうものをわかってもらう。
- このままTVやインターネットでパルクールのことなどの情報またトレーサーからの話でパルクールについて興味を持つ人が徐々に増えると思ったからです。

—国内のパルクール人口に関する意見—

- 今回のアンケートができたように **parkour** は日本でも段々と熱を帯びてきているのだと思います。主に若い世代を中心にストリート系スポーツとして認知度は上がってきているので、人口も増えてくると思います。人口が増えれば社会的に認められる日はそう遠くないと思います。しかし、危険が伴うスポーツであるため人口の増加率は低く、批判も絶えないと思います。よって、辛抱強く **parkour** のために頑張れる人が必要不可欠です。**parkour** 協会の設立と運営、是非是非頑張ってください！
- 年配の方は難色を示すこともありますが、若者でそういう人は少ないので、パルクール人口が増えると共に理解されていくと思います。
- トレーサーの増加の傾向から。

- 良い認知度を上げていけば、トレーサーが増えていけば社会的に理解されるときは来る。

—パルクールの練習場所、施設に関する意見—

- パルクールはスポーツです、野球やサッカーなどもありますが最も近いスポーツは陸上競技です。これに関しては、練習する場、大会を開く場でないと大勢で街中を走っているのは少々迷惑がかかるのでパルクールにもその場を与えてあげないと思います。野球やサッカーのような試合みたいに観客が応援するパルクールの試合というか大会のようなものがあるのを僕は想像できます。SASUKE に近いですね。
- パルクールの社会的な問題点としては、パルクールスポットについてだと思います。壁に足跡をつけたり、柵などを壊してしまったり と言う器物破損の危険性があるからです。そのため、社会的にはパルクールはあまり良いイメージがないかもしれません。それには、専用施設が作られれば、そこへの利用者が増え、同時にマナーを教育すれば こういった問題も減って徐々に理解されていくように思えます。
- パルクールを知っている人が多い方が練習施設なども増えると思うから。
- やる場所が限定されておらず色々な場所で特にお金をあまり使う必要もなくできるのでみんなやると思うから。
- 許可を得た場所で行うことができれば何の問題もないと思う。

—協会に関する意見—

- こうしたパルクール協会の立ち上げにより、社会のパルクールに対する理解が深まると期待しているから。
- まとめるものが出来ることでどのようなものか知ってもらえるようになると思うから。
- 協会を作ることにより社会に認められるからです。
- このような団体設立への動きが出たこと。正しい伝え方がなされた場合に可能であると考えます。
- このような協会が設立されれば知名度が上がり理解者が増えるかもしれないから。
- 公式な協会が発足し広報活動が行われていけば、パルクールを理解してくれる人の数も増えるから、社会的な理解も得られると思う。
- もしこれからパルクール協会が設立されたならば、パルクールはれっきとした種目として社会に認められていくと思っているから。
- 「パルクール協会」というものができれば社会の認識も変わると思うから。
- パルクールの本質の理解が広く得られるのは時間がかかると思うが、パルクールを

映像などで初めて見た時、すごい！や、カッコいい！といった肯定的な印象を持つ人が多いと思うから。 パルクール協会がきちんと機能すれば、少しずつ理解されると思います。

- 協会が考える方策が実現されていけばいずれ理解されると思う。
- 協会ができればそれなりに肩書きもできますし、説明できる環境も揃うから。

—その他の意見—

- 思う、思わないではなく実践しているトレーサー本人が[周りに理解されないだろう]なんて思ったら最初からあきらめてると同じ。理解されるように持って行くべき。
- どちらかと言うと理解して欲しいです。 僕の場合、練習をしてると冷たい目やパルクールを馬鹿にする人が大半なので今はほとんど上達できていません。 なので理解してもらい、堂々と練習したい気持ちがあります。
- 日本だから難しく思うけど 少しずつ変わってくるはず。
- まだ知名度は低いが、今後、一般の人々もパルクールという名前を聞いたことがある、程度には持っていけるはずである。
- ひとつのスポーツとして理解されるのに理由はいらない。必要なのはきっかけだけだと思う。
- やり方と浸透のさせ方を丁寧にしていくことで、何年もかけて理解を得るしかありません。
- 沢山のの人にパルクールの楽しさが 伝わると思うから。
- まだマイナーな為。
- 本気でやっているから。
- 社会を構成する世代の変遷があるため。
- 時間が経てば浸透するさ。 途中で壊滅的な事態が起こらなければ、だが。
- 「理解される」というより「理解されたい」という思い。
- スケートボードのような、名前は知ってるけどしたことがないみたいなマイナースポーツになる予感。
- 大分難しいと思いますが今後そうなってほしいし、そうしようとするので「はい」を選びました。
- そう願いたいし、そうしていきたい。
- 確かな理由はありませんが、そう願いたいです。

Q61. Q59で「いいえ」を選んだ方にお聞きします。そのように思う理由を記述してください。

—危険性・迷惑行為に関する意見—

- 技が危険に見える。迷惑。
- 危ない。子供が真似して怪我したらって声のでるかもしれないから。
- パフォーマンスと言った一部の側面では受け入れられるかもしれない一方、公園などの公の場所での練習会や、トレーニングなど、一般の目に触れる場面も多い中で、周囲から「危険」や「迷惑」と言った視線を向けられてしまう可能性は拭えないと思うため。
- パルクールをやっていない第三者から見たらただの危険行為であり、どれほど詳しい説明をしても完全に理解してもらうのは他のストリートスポーツ(スケートボードなど)と比べて難しいと思います。
- 動画などで迷惑なものも多いから(日本ではあまりないが…)
- どう足掻いても危険であることに変わりはないから。
- 自分はパルクールが好きだけれども、興味のない人にとっては迷惑だと思うから。
- 若年層を中心に行われる危険を伴う又は、危険と思わせるエクストリームスポーツであり、モラルの低さも相まって理解されないだろう。ストリートダンサー系がそうであるように。
- まわりの人は危なすぎて危険だといって、パルクールを批判する人が多いから。
- 周囲からしたら、迷惑そうだからです
- 大多数が理解しても日本人の100%が理解するとは思えません。海外でも車に対する迷惑行為がパルクールだといわれそれが日本の某掲示板に貼られ批判をしている人はいます。改善することはできても完璧は無理だと思います。
- 危険だから。
- いくら練習などを積んでいるとはいえ失敗はつきもの。公共の場で失敗した時はやはり迷惑になる。この考えを根本から変えるのは難しいと思うから。
- 危険なイメージがあるためまた公共物を使うなど。
- いいえと言うより、難しいと思う。危険、邪魔などの意見が根付いてるため。決して不可能ではないと思うがすぐには理解されないと思う。ただ社会的に理解されるようトレーサー皆がTPOを守るなどすれば肯定的にとらえてくれる人は自然と増えていくはず。
- どうしても危険だと思われてしまうから。
- 自分だけでなく他人にまで被害をあたえる可能性があるから。
- 実際にやっている人でないと見ているだけではただの危険な遊びだから。
- 周りの迷惑と思われるのではないかと。
- 他人に迷惑をかけそうだから。

- パルクールで検索するとそこそこの高さから飛び降りる動画や怪我する場面の動画が先行して出るため危険なイメージがある。
- どんなに格好良く動いていても危険というイメージがある。
- 単に危なく見える事をしていれば社会は拒絶するとおもう。
- 環境整備がなされていないパルクールの行為自体が人にとって迷惑となる行為であるため。
- 迷惑行為と思われがちだから。
- 子供が真似したりすると危ない上、町中で迷惑になる場合もあり理解されるのは難しいと思います。
- やはりいろんなところを歩いたりするので汚れてしまい迷惑だと思う。
- ぶつかったら大変。
- 今も迷惑だ迷惑だばっか言われてるから街中ではあんましやんないほうがいいと思う。
- 自分もパルクールをしていますけど、動画を見てて人が居るところでパルクールしている人もいて、なんぼ上手くても危ないと思うし、通行人に取っては迷惑なのかな？と思います。
- バリアフリーの進む日本の街中で必要な技術ではなく、知らない人からすれば危険行為そのものでしかないため。子どもが真似をするリスクがある。
- 理由とはまた少し違う気もするけど今後理解されていくようになっても結局公共のものだからとか、子供たちが真似して危ないとか言われたら結局意味ないと僕は思います。
- 海外の動画が迷惑行為になっているから。

—パルクールの練習場所、施設に関する意見—

- オブジェへのストレスが必ず存在する以上、パークのような広場がないと厳しいと思ったから。
- パルクールってスポーツ自体がそもそもあまりいいものではないと思うんですよね(自分もやっていますが)、公園の遊具をまったく違う用途で使うことが多いし、オブジェを壊すことだってあると思うんです。それはパルクールを知らない人からみれば公共のものを壊しているとしか思われないうから、社会的に理解されないと思います。ですが外国のようにパルクールパークみたいなものができれば社会的にも理解される可能性も見えてくるかもしれません。
- パルクールというスポーツをする人たちがいることを認知はしてもらえるとおもう。しかし、その場所でやらなくても／やるなよという意見は残り続けると思う。
- 不可能ではないがとても大変と思う。パルクールそのものがあまり知られていないし、街中や公共物を障害物として使う事が、使い方によっては痛めてしまう結果

に繋がるから。専用の場所や障害物があると、理解を得やすい気がする。どんな環境でも、というそもそものパークールと違ってくるので、特に日本社会は受け入れてもらうのに時間かかるかな、と思う。

- ➡ あくまで今後パークール自体どう変化するかですが、公共の場所でやれば必ず批判されます。それに安全に対する理解も世間一般とトレーサーでは格差がありすぎます。そのズレが解消されない限り理解はされないと思います。
- ➡ 一時は加熱するだろうけど、今のままノールールの状態が続くとスケボーと同じような扱いを受けるでしょう。実際に通行人に迷惑をかけた、公園の遊具を破損した、子供連れの親に危ないからやめろと言われた、等の話を **Twitter** などで目にする。スケートパークのような、ある意味トレーサーを隔離できる施設があれば、理解はされなくても避難されることは少なくなると思う。
- ➡ 公共物を使うから。
- ➡ パークールの専用施設等が完備されない限り、靴跡等で街中や公共物を結果的に汚してしまうパークールが理解されることは、日本人のモラル意識では難しいと思うから。

ーパークールのマイナスイメージに関する意見ー

- ➡ パークの設置や、公園等での練習におけるガイドラインの周知、また「超人的スポーツ」のイメージ払拭に成功すれば、現在よりも多くの人に理解される可能性はあると思うが、実践者の増加に伴って、マナーの悪いトレーサーや、危険行為をするトレーサーも一定の割合を持って増加していくと考えられるので、パークールに対するマイナスイメージはなくならないと思う。
- ➡ パークールの第一印象、見た目は簡単に間違った情報を与え安すぎる。
- ➡ どうしても野蛮だとか、素行の悪そうな人がやっているイメージは拭えないと思うから
- ➡ 危険な不良のスポーツ というイメージがついてしまったから。ヲタク=犯罪者予備軍みたいに。
- ➡ パークールに日本での商業的価値が出来なければ珍しいスポーツと紹介されるだけで誤解や偏見を解消することは出来ないと思うから。
- ➡ まだまだ危ないやつらだと認識されてしまうから。
- ➡ ストリートスポーツは、不良がやるものというイメージが強いため。
- ➡ 偏見はやはり中々消えないとおもうから。

ーマナー・モラルに関する意見ー

- ➡ パークールを始める前にやることや注意をする事等の周囲に迷惑をかけないようマナー掲示したものがない事や怪我や物の破壊をしないように安全性を考えて行

う等のモラル掲示されたものがない為(そもそもパルクールがスポーツであることすら認知されていない。スポーツといえばルールブックがあるはずだがパルクールにはそういうものが存在しないので「得体の知れないなにか」というよくわからないものであるため)。

- マナー、モラルの悪い人が多い。ゴミのポイ捨て、器物破損、通行人に構わずフリップなど。
- マナーがなさすぎる。周囲への危険意識が必要。
- 服装の問題、TVで放映されたパルクール映像による印象、パルクール実践者のモラルのない行動等があると思います。
- マナーの悪いトレーサーを無くすことは無理だから。

—パルクールの認識、認知度に関する意見—

- パルクールが発達してから何年も経っているイギリスやフランス、自由の国として知られるアメリカでも理解されていない事がほとんど。海外と比べ、認知度と理解度がまだまだ低いように思えるから。
- 努力によってある程度までの信頼は手に入れることができると思うが、パルクールの性質上、それにも限界があると思うから。
- これからどれだけパルクールに関わる人間が増えても、自分が数年掛けて体感してきたリアルなパルクールは一般社会にはなかなか伝わらないと感じています。しかし、今後何かしらの団体が日本独自の共通した概念の提唱をすればそれが社会的に理解されていくと思います。
- いまのパルクールはスケボーなどのストリートスポーツなどと同じように発展していきそうだから。
- パルクールをしない人がパルクールを知っているというところまで浸透するようには思えないから。
- 私がパルクールを知ってから五年ほど経ちましたが、知った当時と現在を比べても非トレーサーの人のパルクールへの認知度は大して変わってはいないから。
- 意外に知名度がひくい。
- 確立された競技ではないから。
- パルクールを知らない人が多いから。

—日本に関する意見—

- 第一印象が危ないのはだれがどう思ってもかえられないとおもう。それに加え自分に興味がないものを知ろうとは思わないし危ない印象はかえられないとおもう。それに海外みたいにエクストリームスポーツに寛容的ではないしそれはトレーサーなど関係なく「日本人」が持っている安全第一という精神とは真逆なものだと思

うから。たとえ習い事でパルクールがあったとしても親はそれを許さないと思う。なぜなら、どんなに気をつければいいとはいっても結局はスポーツであって怪我はするし、見かけはめっちゃくちゃ危ないスポーツでそんなことにお金をかけて習わせたいとは絶対に思わないと思う。

- スケボーのように比較的メジャーなストリートスポーツであっても日本ではまだ受け入れられているとは言い難い状況。その上でパルクールが受け入れられるとは考えがたい。また、古来より日本には土足は不浄とする考え方が存在することも問題。公園の手すりの上に乗っているだけでも手すりを踏んで汚していると捉えられてしまう傾向がある（現実的に考えれば常に風雨に晒されている屋外の手すりの方が靴よりよっぽど汚いはずだが・・・）。
- 日本は成人が公園で運動しているだけで通報されるため。
- ここが日本だから。
- 一言で言えば、日本の価値観や文化が制約となって、多数の人々の認識がエクストリームスポーツや見世物の域を越えることはできないと思うから。
- 日本人の、国民性では、パルクールは理解されないと思う。

—パルクールの性質に関する意見—

- 「パルクール」だけだとあまり派手さに欠け、人を魅了するのが難しいから。
- 現在一般的とされている生き方や考えはパルクールと噛み合わないと思う。批判する人が居なくなるわけではないから。
- パルクールをやってない人からみたら需要はあるのかと思われるかもしれないから。
- パルクールは定義が極めて曖昧なものであり、トレーサーによってもその認識が異なったものとなっている現状があります。一種のスポーツとして一定の定義を定めない限り、社会的に理解されることは無いように感じます。
- パルクールとはバスケットや野球と違い、一般人に理解しやすい目的のない概念(スポーツではない)なので、一般大衆の理解を得るのは難しいと思う。また、一般人から見たら何をしているかわからないトレーサーという集団はある種の恐怖を喚起するのではないかと考えたから。
- スポーツとしての概念が薄すぎるから。
- メディアが派手なことを求めてる以上本来のパルクールを説明するのは不可能だと思います。メディアに出たりするときもパフォーマンス重視なのできちんとしたパルクールを教えたとしても他のメディアがそれを邪魔するようにパフォーマンス重視のパルクールを紹介するということの繰り返しになりそうなので。
- パルクールとしてピックアップされるものが極端なものばかりだから。

—その他の意見—

- いいえにしましたが、少しずつ広まっているパルクールをどう纏めるかによると思います。パルクールを実践している人たちの心がけ次第で良い方向に向かうとは思いますが、今のままでは難しいと感じています。
- 人の考えはそれぞれ違うから、理解してくれる人もいれば 理解してくれない人もいると思います。
- まだまだ時間が必要だと思う。
- 現状のままでは難しい。
- 「はい」とは言い難いから。
- 趣味の一貫。
- 自己満足でしかないから。
- 保護者からの苦情などは尽きないと思うから。

Q62. パルクールの理解を深めるためには、どのような活動があると思いますか？ご自由にお書きください。

—メディアに関する意見—

- テレビでの放送(大会など)が 手っ取り早い気がしますが、あと広告ですかね。パルクールに限らずですが、1 番はマナーを守るという意識だと思います。パルクールをしている人もしていない人もお互いに不快な思いをしないようにするという事です。
- メディアを使った情報発信をすることで、少しでも多くの人にパルクールの存在を知ってもらうことが理解に繋がるのではないかと思います。しかし、テレビや雑誌の様な客観的なものではなく、トレーサーが自ら発信することに意味があるのではないかと思います。
- まずはバラエティ、雑誌などパルクールを知らない人でも目に付くようなメディアを使用し、そこでパルクールというものがどういうものなのか、という説明などをするのが良いと思う。
- 練習会をもっと増やし、パルクールというスポーツを雑誌や動画で、日本の人々に知ってもらうことが必要だと思う。
- 例えば、指導者を育成して芸能人にパルクールを指導し、メディアで「趣味はパルクール」と発言してもらう。知名度を上げて、パルクール協会へアクセス、正しいパルクールを認識してもらう。
- まず、最も多くの人目に付くテレビでの何かしらの宣伝、またはNHKなどの親子共に目にする場所に、少しずつ広げていく、後にcs、スカパーなどの小中学生が目につく所へと手を広げてゆく。それと同時に街でのゲリラ的パフォーマンスで人目を集めて宣伝などなど 特にゲリラ的に行うのが人目を引きやすいとおもいま

す。

- トレーサーの中での理解は講習会などを通して深める必要があると思います。パークールの存在も知らない多くの人への理解は、やはり、メディアを上手く利用するのが効率的だと思います。若者に対しては理解が得られやすいと思うので、若者を対象とした普及活動を多く行う事が重要だと思います。
- 県庁の協力が理想。パークールという言葉を流行らせたいなら新体操に沿った形でメディアに紹介してもらおう。パークール人口を増やしたいなら自然系のレジャーにパークールを取り入れたものを実施する。
- パークールに関するメディア等の放送の改善。そのため：インタビューの際、必ずメディア関係の人が同意しなければならない「パークールに関する放送について」の説明事項の利用。同意しない放送はお金等もらえても一切インタビュー・取材に参加しないこと。
- テレビなどの取材が1番かと思われませんが基本的それは難しい事だと思うので少しずつ自分達でできる範囲で発信していったりもしくはCM出演やテレビに出る機会がある人などが詳しく説明したり動画を進めて見たりなどがいいとおもいます。
- メディアへの出演による知名度の向上、正確なパークールの説明など(他18件)。
- メディアを効果的かつ正しく活用した宣伝、広報活動を行い、トレーサーが現場で細部の指導を行う。
- テレビ放送、人口の増加、雑誌掲載 etc・・・
- 各種メディアを使う不特定への周知と、地域の需要に対する手厚い対応。
- メディア露出して認知度、こういうスポーツもあるんだということを知ってもらうこと。
- 映画やゲーム、TVといったメディアによる社会認識を第一歩としてパークールを社会に知ってもらい、清掃活動や補修活動などのボランティアを通しプラス面をアピールする。
- パークールを題材にしたドラマがあつたらいいなあ、と思います。
- メディアが効果的だが今の現状の僕たちではメディアでなんとおもうと理解される日が来るのはまだまだ先だろう。

ーワークショップ・講習会・教室・セミナーなどに関する意見ー

- ボランティアベースのワークショップが一番わかりやすいと思います。学校や地域コミュニティでのワークショップ又はイベントでのパフォーマンスなど。スポーツするだけでなく、掃除するなどの地域社会貢献部分も必要。皆の税金で作った公共物を使わせてもらってる、という意識は大事。掃除でなくても、地域のイベントを盛り上げるとか、青少年のスポーツ育成に参加するとか、社会参加が大切だと思います。後は、

安くて良いのでワークショップにはスポーツ保険が任意で選べると一般的には安心するかも。

- 動画の配信が直感的でわかりやすくインパクトを与えやすいと思います。それと、ボランティアの **parkour** 初心者体験会のようなものをするべきだと思います。動画を見て始めたいけど何をすればよいか分からないという人には大変良い機会だと思います。この体験会はボランティアということに大きな意味があります。**parkour** を始めたいと思う人は学生など若い世代が多いため有料などになってしまうと参加を見送る可能性が高いためです。運営のために有料にする前に、まずはボランティアをし人口が増えてから有料に切り替えるべきだと思います。
- 創始者である **ADD** メンバーの来日イベントの開催。本部でも基礎練習がメインである事を知るべき。またその基礎練習がかなりハードである事を実感し、フリップやパフォーマンスはあくまでも映画「ヤマカシ」の真似であり、**ADD** 本来のトレーニングではないということを知っていただきたい。今の日本の状況では「日常の動作」をいかに無駄無く美しく行なうかという観点を見落とされている気がする。
- ランデブーみたいなワークショップを定期的に関くべきです。 トレーニングばかりはパルクール人口が減るかも知れませんがそのときは普通の練習会でも開くとバランスが保てるかと思っています。
- 認知度を上げるための大規模なイベントや（特に子供たちに向けた）ワークショップの開催。
- 地面に近い安全なエクササイズ的パルクールの講習会、youtube ホームページ等ネットでの宣伝やビデオ作成。
- パークが存在すれば、そこでワークショップを開く。
- 講習会。
- ワークショップ。
- 地域での講習会やセミナー。
- 正しいパルクールを教える講習会。
- 子供向けのパルクールワークショップ。
- 子供を対象とした無料講習会(地域広報紙に掲載)。
- 地域との交流、簡単なワークショップ、子供向けワークショップの開催、セミナーの開催。
- 地方でも初心者向けの教室を行うこと。
- 小学生くらいの子供と親を対象にした室内教室。
- 地域の子供を対象としたパルクールの基本動作の講習会や運動能力向上のためのトレーニング法の講習会など。
- 幅広い年齢層に向けてのワークショップ。
- 初心者講習とか清掃活動などをたくさんしたら パルクールの理解を深めることがで

きると思います。

- 行政と連携した教育活動の拡大に加え、個人や各地での教室開催。
- お金を取れる教育事業を展開する(払った金額以上の付加価値があるものであるという認識の構築)。
- 教室などの開催。
- メディア流出と、初心者向けの練習会の開催しか思いつかないです、すみません。
- 何かしらの方法でパルクールの広告を出したり、パルクール教室みたいに公式スポーツみたいにすればいいと思う。
- 初心者トレーサー向けに技術だけでなく安全第一優先としたモラル向上を図る講習を行う。上記の様子を撮影した動画の公開。
- 初心者への講習会や定期的な(関東、東北など地域ごとの)練習、教室を実施し、WEB・メディアへの情報発信を活発にすることだと思います。
- 日本全国でパルクール教室を開催すれば理解が深まると思います。
- 地域での、定期的な教室開催。室内での基礎的な動き方の練習など。他には、座学的な講座があればいいなと思います。
- その地域などごとにまとまって勉強会をおこなったりすると良いと思う。
- yamakasi などを日本に招いて練習会講習会をひらいて、ただしいパルクールを知ること。

—各種イベントに関して—

- 一般の人もくるようなイベントにどんどん参加して 危ない競技ではない！ っていうのを知ってもらう。 年齢関係ない仲間たちとの交流を みてもらう。
- 先ずはパルクールの存在を知ってもらうために公共の場でデモンストレーションを行えるようにする取り組みが必要かと思います。
- 他のスポーツ(武道や陸上競技)との交流会、ストレッチや筋トレなど誰でもすぐにできる行為を重きにおいた地域活動への参加
- 他人の迷惑にならないような練習法を確立して 一般の人向けにもパルクールに触れ合える機会を設ける
- チームや小規模団体などでパフォーマンスの披露をしてたくさんの方の目に触れるようにすること
- トレーサーとしてのルールを作る。 周りから理解されるには時間が掛かりそうだが、定期的に場所を借りてパフォーマンスをしたり、体験会を開いたりする。
- 講演会を開くべき。また屋外施設をつくるなど近隣住民に対して理解してもらい、了承を得るべき。
- より多く TV で紹介をすることやまたパルクールを体験するようなイベントやショーまた説明会のようなものを各地で行うといいと僕は思いました。

- 各地での大規模な練習会の開催。
- 誰でも参加できる練習会。
- 練習会の全国的な開催。
- トレーサーが集まり練習会を定期的に各地で行う。
- 練習会（他 9 件）。
- 自由参加型の練習。
- もっとイベントを増やすべき。
- 色んな場所でパフォーマンスをする。
- パフォーマンスイベント等への参加。
- イベント。
- 街中や路上などでの簡単な演説など。
- パフォーマンス披露。
- 全国大会などの開催でスポーツとしての認識を強める。
- 大会の開催。
- シルクドゥソレイユのようなパフォーマンスとしての一般公開。
- 大会などでまずはパルクールってスポーツがあるんだって知ってもらう。
- まずは、テレビで取り上げられるような規模のイベント開催。
- 講習会や公式大会などの開催。
- 何かしらの会場でパフォーマンスをする。
- パフォーマンス、説明会。
- 説明会の開設。

—パルクールの認識・認知度・印象に関する意見—

- パルクールが社会的に理解されるのに重要だと思うのは、パルクールが社会貢献出来るかにかかっていると思います。地域の清掃活動、マナーやモラル、人間関係、パルクールの精神性を実践して、パルクールが人間形成にとっても役立つと伝える。国籍、年齢、社会的地位に関わらず実践できる、パルクールという生き方があるとまで伝える。そこから、町興しの事業にも繋げる。
- 他人に迷惑を掛けたり、マナーを守らないトレーサーを出したりしない為に、何もわかってない初心者がいきなり無茶な技をやって怪我をしたり、他人にさせたりすることのない様に指導が出来、マナーや違法行為も正しく指導出来るインストラクターを養成し、日頃からトレーサーに啓発する活動を欠かさずする。
- アクロバティックな面、中高生男子がダリーウゼーマジヤベーターって言いながら公園を我が物顔で占拠してるだけだと、コンビニ前でたむろしてるヤンキーと何ら変わらない存在としか受け止められないので、親子で楽しめる、ステレオタイプな健全さの側面を教室やワークショップなどを通じて伝えていくと良いと思います。協会としては

多少そちら寄りでもいいくらいかと。

- 自分はパルクールを一種のトレーニング方法であると解しています。そのため、パルクールの理解を深めるためには、トレーニングをする上で最低限行うべき安全の確保についての認識をより積極的にしていくことが何より重要であると考えます。
- パルクールというものの周知。公園等でトレーニングしていても、それが得体のしれない物ではなくパルクールだと分かってもらえる状況。
- パルクールの自由だが美しさを追求し続ける精神を一般の方々に見てもらえる機会を作る。
- "場所を選んで行える自由な運動"というイメージ展開(≠ストリートでやる運動、場所を選ばない運動)。
- 地域活動への積極的参加、一般人参加型の練習会、パルクールを指導する教室(有料)、また、パルクール教室で得られた資金を元にイベントを開催。これらの活動を総合的に行うことで一般大衆のパルクールに対する「正しい理解」を喚起すること。
- まずは、ある程度のパルクールのイメージを固めると活動があるといいと思う。(危険なものではないってこととか)。
- アドレナリンジャンキーと思われないようにする。
- 認知を広めるための異種とのコラボレーションなど。
- 公的な手段を使ったら認知度は広がると思う。
- パルクールの真の目的を知ってもらう！
- 自分自身の精神力を高めるという日本の剣道、柔道に似た部分をもっと大きく伝えるといいと思う。
- パルクールというスポーツを知ることができる機会をつくる。
- 危ない事するだけじゃないと言うことを伝えること。
- パルクールをしっかりと理解して知ってもらう環境作り、正しい知識をもってパルクールに触れてもらえる環境づくりが必要だと思う。
- まずはパルクールの詳しい説明、どのようなものなのか理解を得る。そして良い所などを積極的にアピールする。
- 競技を幅広く知ってもらう。トップアスリートの活躍。
- エクストリームな面ばかりでなくフィットネス、簡単なレクリエーションとしての普及。
- 分かりやすい説明と素人にもしっかりと基礎から教え怪我を防いだり町中でも最低限のマナーを守れば良いと思います。
- パルクールの定義の説明、練習内容の説明、活動場所の説明、トレーサーへのマナーの喚起
- パルクールに対し興味を持った全ての人間が Web や練習会、教室など何らかのツールを通して正しいパルクール精神とは何かを知ることができる道筋を増やす。

- パルクールがなぜ生まれたのかということを知らせていくこと。
- 社会的に褒められる活動。メディアへの露出。楽しそうと思わせる事。
- パルクール精神の啓発
- 各県での掲示的なものをしたりするなど
- 一般に向けたパークールに関する情報公開。
- どのようなスポーツかしっかり情報公開する
- パルクールの説明
- まず知ってもらうことが大事だと思う。

—PR・広報活動に関する意見—

- 動画でパークールを知った人が多数いると思われる。派手な動きの動画だけでなく、地味だが、初心者にと必要と思われる練習の動画などを多く作成、配信する。ネットや雑誌などのメディアを用い、社会に向けてパークールが安全や周囲に配慮したスポーツであることを伝える。
- 言葉だけでは上手く伝わらないので、実際にパークールの動画を見せるのが一番だと思います。もうパークールの動画は YouTube などにたくさんあるので、それをパークールの知らない人たちに宣伝して見てもらうのがいいと思います。
- イベントなどを開催して TV などに取り上げてもらい、まずは多くの人に存在を知ってもらうこと。それまでにインターネット上でしっかりとパークールに関する情報をまとめておくこと。動画サイトではパークール協会が作成したプロモーションビデオなどを公開し各チームのホームページなどに埋め込みやリンクを貼っておくこと。これを日本のパークールの象徴としてそこにパークールの安全性、魅力などの情報を盛り込めば良いのではないかと、考えます。
- ワークショップやレクリエーション、初心者向けの動画の配信など、できる限り世の中に触れる機会をもつようにする。ルールやマナーを守り清掃活動をするなどパークールのイメージアップに繋がるような活動。
- パルクールが迷惑行為でないことを紹介するためのショートムービーなどの作成が有力だと思います。個人的に欲を言えば宣伝動画などに練習会風景などをながせば効果は大きいと思います。
- 年齢、性別に問わず普段スポーツをしないような人たちへのアピール活動。勝ち負けではなく、純粋に体を動かすことだけの楽しさを知ってもらう。
- パルクール協会設立後協会 HP やラジオなどのメディアを通してパークールの紹介をする。
- パルクールについて身近で知ることができるように、広告やウェブサイトがあるということをもっと知ってもらう。
- ある程度パークールについて理解した人達が地域を問わず最初は売り込んで社会に入

っていくべきだと思う。パフォーマンスでも CM でも。

- 多くの人々に知ってもらう工夫。例えばネタを盛り込んだパルクール動画作成により一般のひとでもとっつきやすくするなど。
- パルクールと、社会に生きていくうえで大切な社会性との関わりについての啓発、パルクールについての小冊子や、練習会のチラシを公共施設等に置いてもらうこと。
- パルクールのトレーニングが地震や火災の様な災害時の避難に役立つかもしれないので、そこをアピールする。
- 危険なスタントやパフォーマンスではないというスタンスでの広報活動。
- 子供に限らず大人でも、成長と発達に関して貢献が出来るというアピール。
- 大規模な Movie を作れば良いと思います。そんな簡単な事じゃないけど。
- YouTube での動画投稿。
- ツイッターや SNS を使った宣伝。
- 体育の授業に取り入れるのが一番良いと思う。
- 広告や sns の展開など、人目につく所で興味を持たせる。
- 魅力をアピールする。
- パルクールは自重筋トレや動トレとして側面があるのでその部分をアピールする。
- 一般人の目に入るような広報活動。

—マナー・ルール・モラルに関する意見—

- トレーサーへのマナー・ルールの徹底 「パルクールをするため」の場所づくりでしょうか スケボーなども各地で出来る場所が減っていますから 街中などでの活動は理解を深める上でリスクになりうると思います、残念なことです。
- プレイヤーが増えるようならば早い時期からのモラル喚起。 プロモーション動画やイベントへの参加などで広めていけば 誤解されないように広められるのではないかと思います。
- パルクールの定義や練習内容を発信していくに併せて、危険への対策・使用箇所の清掃などを行っていることも説明していくべきだと思う。 パルクールが好きな自分でも、柵を汚してしまったり、公共の外壁を使用することに若干の抵抗感があるので、世間へのマナー面のアピールは絶対に必要だと思う。
- 世間一般の人が理解しやすいような定義と ルールやマナーなど、守るべきところをしっかりと守って反感をかわないように、トレーサーをまとめる必要があると思います。
- 公共施設の使い方やチームとしての礼儀など、トレーサーのマナーを徹底する。これに尽きると思う。
- スポットの清掃活動 利用させていただいているスポットでのあいさつ等を心がけたり、迷惑をかけないように動く。
- パルクールスポットの清掃活動をはじめとする社会貢献活動の他に防災・防犯パトロール

ールなどの活動にも参加するべきだと思います。

- パルクールをやる上でのマナーを公式で決めて、やっている人に覚えてもらう。(まわりに人がいないか確認してから、など)
- 練習環境を整えた上で違法行為を撲滅する。
- マナーを守ってればいいと思う。
- 最低限マナーを守る。
- スポットの清掃、イベント等の参加、通行人にへの配慮。
- 迷惑にならぬように活動する。
- 一般的なルールを守って周りの人に迷惑にならないようにすること。
- スポットを汚さず、壊さず、周囲の人達に迷惑掛けずに利用する。興味を持ってくれた人と話してみる。
- 一般的なマナーを守った活動。
- 清掃などをする！
- マナー、モラルを確立し、公表。それを守った上で責任を持った行動を取る。
- 迷惑行為をしないようにする。
- 他人に迷惑をかけなければ、それでいいと思う。
- トレーサーの皆さんがルールを守って迷惑のないようにすれば理解してくれると思う。
- 単純に物を壊さない汚さない、その場所にいる通行人などに軽い挨拶程度はする。
- 海外のような動画だけではなくちゃんとマナーの守った動画の配信。
- トレーサー一人一人のマナーとモラル。

—トレーサーの姿勢に関する意見—

- 実践者が一人一人良く理解していること、WEB サイト等でパークールの事を解りやすく明記すること等重要ではないでしょうか。TV や動画でパークールは日本にも広がりつつありますが、その広がり方はパークールは(危ない、怪我をする、運動神経がないとできない)等の誤った理解をされていると思います。TV ではよく過激と言いますか、応用の行き過ぎた動きをしている所ばかりなので、それも一つの原因ではないでしょうか。
- そもそもトレーサーがミヤマクワガタ並に飛んでることを見ることが無い現在、競技人口が増えないことには、PKに魅力はあるからあいさつとかしっかりしてれば人口増えていくと思う。閉じたコミュニティじゃなくなるにはやっぱ始めの挨拶かと。
- パルクールを他の例えば陸上競技やサッカーの様なスポーツのトレーニングの為に使いたい人やダンスやトリッキングや武術や格闘技などのパフォーマンス向上に使いたいという理由でトレーニングとして利用する人達も広く受け入れる。(コアにやりたい人以外お断りの空気は作らない。)
- 中途半端に真似事をさせない。 トレーニングをしているところをアピールし、社会

的に好感を持たれるような態度を心掛ける。練習前後には周囲の清掃を出来るだけ行って、ギャラリー等が出来たのであれば礼の一言でも言うなど当たり前な行動は欠かせないと思う。

- ネットも大事だが、草の根運動的な行動も大事。実際に自分の周りにどれだけ広げられるか動いていきたい。
- しっかりとした説明、地域への奉仕活動などをし、競技として以外のパルクールの精神を広める。また、トレーサーも個々の責任を自覚して活動に専念すれば必ず理解されるとおもう。
- 友人や地域人との繋がりを増やし、対話の中でパルクールをアピールしたり、実際に練習会などを見てもらったりする。
- パルクールをやっているひとが皆、魅力的な人間だったら、「あ、あの人のやることなら…」と、関心をもってもらえるのでは。という考えから、人間力の向上。
- 自分の身近にいる人達への啓蒙。一つ一つは取るに足りないが、塵も積もればなんとやら、とも言います。
- マナーの悪いトレーサーの数より、社会に貢献しながら公共物を使って練習するトレーサーが増えればいい。
- 学校でパルクールの事を、せめてこんなスポーツがあるという紹介ができたり、社会のイベントにパルクールをやってる人で参加するとか。
- 全国の各地でサークルまたはグループを作るしかないと思います。そして各グループでも何人かがリーダーとしてやり続ける事が一番重要だと思います。
- トレーサー意外の視点を持ち続けて生活すること。
- 自分自身のパルクールを見つけるために様々な人との交流ですね。
- みんな YouTube などにたくさん載せていく。
- 頑張って練習して上手くなって、動画を投稿することかな？

—練習場所、施設に関する意見—

- 屋外のパークをつくるより まず外からあまり見えない屋内パークをつくり どんなものが気になるようにしておいて 外に初心者講習のお知らせをはる。
- 練習内容にもよりますが、外でやる限りは理解されないでしょうから屋内の専用施設が必要だと思います。その上で安全対策がしっかりされていれば理解は深まるでしょう。
- まずはパルクールパークや専用の室内練習場等を作り住み分けを行うことが最優先に思われる。
- パルクール用に作られたコート、障害物の設置。
- パルクール専用施設の整備。
- パルクール専用の動ける場所を作る。

- 練習できる場を増やし、その練習を多くの人に見てもらおう。
- パルクールパークを作る
- 環境整備。

—その他、パークール全般に関する意見—

- 練習会、セミナー、コミュニティ、先輩トレーサーと話をする機会、玄人に対しての講習会とパークール初心者に対しての講習会。独学でもパークールはやれなくないと思っていますが、協会としてすべてのトレーサーに同じような方向を向いていただきたいのであれば上記のような活動を地道でもやっていく必要はあると思います。パークールカッコいい！すごい！自分もやってみたい！と魅力を感じてみんな始めていると思うので、初心者には楽しく魅力的に。玄人にはパークールの哲学や安全管理、指導方法など伝えられると良いと思います。あとは社会に対してですよ。各々が啓蒙活動を行ってもらえると良いとは思いますが…
- 現在、日本各地で行われている練習会、それ自体を行う各地のコミュニティ、これらはとても効果的な活動だと思います。これらのものに加え、私はもっと指導の場が今以上に良い環境で設けられるとなお良いと思います。質問の中にも「指導」に触れる質問がいくつかありましたので、それらが実現すればとても良いと考えます。それら指導に関するもので特に私が進めてほしいものはADAPT取得についてです。これが今より容易に取得できる環境ができれば日本でもより多くのトレーサーがADAPTというある程度の「社会からの理解の証明」を持つことが出来ると思います。私はこれがたくさんの活動の中で特に効果的だと思います。
- 専門性を持った各分野の"プロ"がパークールについて検証作業を行う必要がある。また、パークール自体を地域の人々のニーズとウォンツに合わせた形に成形していくことが必要。それは、きっと地域によって異なる課題があるから。
- 自分はそんなに理解して欲しいってよりもパークールのことが本当に好きな人たちや各地方のトレーサー達とふれあって楽しく少しずつチームとしてみんなで成長していきたいなって思います。
- まず、同胞のコミュニティをしっかりと繋げることが重要です。まだまだ全国的にはかなりバラついてます。
- ネットで調べることです。でもネットにすべてが載っているわけではないので分からない答えは知り合いに訊くか自分で探すことになると思います。どんなに自分のプレイに批判されようがパークールに正確な決まりはないので俺達は自分なりのスタイルで活動していつてます。
- ただパークール人口を増やしたいのならばただ危険なことをして動画にして YouTube にあげればいい。 だけどそれはパークールでもなんでもなし結局は地道に今みたいに広めて行けばいいとおもう。

- より安全な環境を作るための社会貢献。運動能力の向上を使って震災などの瓦礫撤廃など力仕事を見せることでプロパガンダになり得る。
- システムやクラヴマガの様に、警察や警備員や消防隊員や自衛隊などの訓練に取り入れられる様にトレーニングメニューを改良する。
- 理解を深めさせるのではなく興味のない人はないと思うし少しでもある人は自然と深まっていくと思う。
- インターネットサイトの作成。サイトの内容は上記の質問で「とてもそう思う」と回答したものなどが掲載されていたらいいなあと思います。
- パルクールの練習会ではなく、塾を作る。
- パルクールに関係する人を増やす。
- パルクール専用の傷害保険がほしい。
- 日本の環境に沿った練習法を作り上げる。
- いろんなところでパークールのなにかをする。
- パルクール協会がパークールがひとつのスポーツとしてルール制定と公開する。
- なにをしても理解してくれない人はいると思う。
- ウェブサイトの制作。
- トレーサー同士でパークールについて話す事のできるサイトなどの確立。
- 他の分野の人達との交流。
- パルクール専用の施設内で行う「競技」というくくりにする。
- 意外に知名度が低いので悪い印象の方が広まりやすいとおもうから。
- 下手な小細工をしない。
- 共通概念の提唱。
- 実践。

第 1 回日本全国パークール調査報告書

発行年月：2014 年 5 月

発行・編集：日本パークール協会

連絡先：info@parkour.jp

※禁無断転載・複製